

第十二章 クラブ小誌

- (1) 例会及び行事（十ヶ年）
- (2) 各年度役員及び理事、委員長
- (3) 年度別会員数及び出席率、皆出席者名簿
- (4) ロータリー財団年度別実績

ポールハリスフェロー及び準フェロー名簿

- (5) 年度別地区役員名簿
- (6) 地区及び分区行事ホスト表
- (7) 各種表彰

クラブ小誌

(1) 例会及び行事(十ヶ年)

1971年

月日	8 日	11 日	16～17日	20 日	30 日
11月	クラブ創立総会 於、足銀支店 祝宴、千本松レスト ハウス	4クラブ合同例会 於、大田原 岩井屋	355 地区年次大会 於、橋木会館 27名全員出席	クラブ協議会 於、西那須野 信用組合	地区大会報告
12月	ガバナー卓話 ロータリーについて 滝沢 信二	地区大会 部門別協議会報告	外 来 卓 話 戦後の教育 町教委 植竹 徳重	外 来 卓 話 出席について 玉 木 徳次郎	認証さる 28日ガバナーより伝 達さる。

1972年

月日	4 日	11 日	14 日	18 日	20 日
1月	会 員 卓 話 小さな善意 三 森 重 保	外 来 卓 話 米国語学研修 西中 白 石 久 夫	宇都宮R.C. 20周年 式典 鈴木基一会長出席	新 年 懇 親 会 於、 ホテルニュー塩原	宇都宮西R.C. 10周年式典 鈴木基一会長及び 藤森武雄幹事出席
	25 日				
1月	外 来 卓 話 健康法について 大田原保健所長 大 高 豊 正				
2月	会 員 卓 話 愛の切手 鈴 木 基 一	外 来 卓 話 那須野の古代文化 小川 関 根 顕 英	第1分区I.C.G.F. 於、橋木会館 25名全員出席 最高出席率賞受賞	外 来 卓 話 生け花の心 草月流師範 坂 本 柳 友	クラブ協議会 於、中央公民館 チャーターナイト及 び会員増強につき
	22 日	29 日			
2月	外 来 卓 話 R. I. について 堀 江 護	会 員 卓 話 成人式を迎えた子と 親 小 池 保			
3月	7 日	14 日	21 日	28 日	
	クラブ年次総会 次年度理事選出	外 来 卓 話 社会奉仕について 戸 辺 隆	ガバナー公式訪問 於、足銀支店 滝沢信二ガバナー 坂本守地区幹事 東原清一分区代理 堀江 護特別代表	会 員 卓 話 腰痛について 大 堀 直 文	

月日	4 日	11 日	18 日	25 日	27 日
4 月	外 来 卓 話 町の青少年の実態 中公館長 市原友吉	外 来 卓 話 蛭虫について 高橋安雄	外 来 卓 話 東南アジア農村指導 者の現況 アジア学院 菊地 創 観 桜 会 於、千本松 レストハウス	外 来 卓 話 シドニー大会出席 石和田 幸一	桐生西R.C. チャーターナイト 16名出席
月日	2 日	4 日	9 日	16 日	23 日
5 月	外 来 卓 話 東南アジア農村の現 況 アジア学院長 高見 敏弘 留学生10名 招待 琴演奏 君島玉寿絵	クラブ協議会 チャーターナイトに ついて 於、永田公会堂	外 来 卓 話 白河R.C. 創立の動 機 片倉義夫 南洋諸島来訪者 招待3名	クラブ協議会 チャーターナイト について	クラブ協議会 チャーターナイト について
	26 日	28 日	30 日		
	次期会長幹事会 於、宇都宮マスキ ン	太田西R.C. チャーターナイト 4名出席	ガバナー卓話 滝沢信二 於、ホテルニュー塩 原		
月日	4 日	13 日	20 日	24～25 日	27 日
6 月	認証状伝達式 於、ホテルニュー塩 原 8地区 55R.C. 545名登録	外 来 卓 話 特殊教育について 榎井一俊	ガバナー卓話 奉仕の冒険 滝沢信二	地区協議会 於、土浦京成ホテル	最終例会 役員挨拶
月日	4 日	11 日	18 日	25 日	
7 月	新年度会長挨拶 鈴木基一	外 来 卓 話 ラリラン 南宮在憲	外 来 卓 話 日本の印象 スタンレーダ ン (オハイオ州)	会 員 卓 話 「動き」について 草野栄竜	
月日	1 日	9 日	15 日	22 日	29 日
8 月	外 来 卓 話 R-精神について R.I. 358地区P.G. 松方三郎	ガバナー公式訪問 岩瀬主一ガバナー 滝沢信二P.G. 辻由兵衛区分代理	D. 524 ローレンス L. ライラガバナー を通じバイセリア R.C.との友好	会 員 卓 話 日常生活の体力 づくり 大塩直文	会 員 卓 話 ロータリーあれこれ 梨本欣司
月日	5 日	12 日	19 日	19 日	26 日
9 月	会 員 卓 話 誕生日によせて 伊藤、羽石、小出	外 来 卓 話 伝統染色について 国画会 下平清人	会 員 卓 話 世界理解週間 鈴木基一	分区会長幹事会 於、宇都宮 鈴木(基)、小出	会 員 卓 話 R. 情報について 宮沢勝
月日	3 日	7～8 日	17 日	24 日	31 日
10 月	クラブ協議会 バイセリアR.C. との友好について	355-356連合地区 年次大会 於、新潟県民会館 参加クラブ代表挨拶 鈴木基一 6名出席	連合地区大会報告 鈴木(基) 草野栄竜 W.E. ショアー	クラブ協議会 四つのテストの碑 一周年記念式に ついて	会 員 卓 話 信仰について 草野栄竜 福本治夫

月日	7 日	14 日	21 日	28 日
11 月	創立一周年記念式、 於、足銀支店 祝宴、昭和亭 滝沢信二P.G.夫妻 辻由兵区分代理 堀江護特別代表	クラブ協議会 四クラブ合同 例会について	外 来 卓 話 電力事情について 東電大田原所長 金 子 直 正	外 来 卓 話 タイの癌患者の現況 ボイトン、シーダン グチアン(タイ)
月日	7 日	12 日	19 日	26 日
12 月	四R.C.合同例会 於、矢板 千寿苑 卓話、明治以降の 貨幣 村 井 敬 爾	バイセリア地方の スライド上映 ショー夫人	会 員 卓 話 高橋功博士よりの 贈書 鈴 木 基 一	外 来 卓 話 児童相談について 県北児童相談所 三 井 所 長

1973年

月日	5 日	9 日	16 日	23 日	30 日
1 月	会 員 卓 話 年頭所感 三森、伊藤(甲)、 堀川	会 員 卓 話 入会して 宮沢(四)、齊藤、 相馬	新年家族会 於、ニュー塩原 会 長 換 抄	会 員 卓 話 雑誌週刊福本、入社 の頃 梨本	クラブ協議会 各委員会の活動 計画
月日	6 日	13 日	15 日	20 日	27 日
2 月	会 員 卓 話 西那須野に移住の頃 平 野 節 夫	会 員 卓 話 韓国旅行 鈴 木 伊 勢 松	第1分区分会長幹事会 於、大田原 I. C. G. F. について	会 員 卓 話 R. I. 創立記念日 によせて 小滝、井上、ショー	会 員 卓 話 新会員が望むもの 久 保 浩 「最も重要な人物」 第一部上映
月日	6 日	13 日	20 日	27 日	
3 月	クラブ年次総会 次年度理事選出 於、松楓荘	外 来 卓 話 韓国を旅して 渡 辺 令 一	「最も重要な人物」 第二部上映	外 来 卓 話 ラオス見聞 根 岸 範 子	
月日	3 日	8 日	10 日	17 日	24 日
4 月	高校生海外教室 結団式 団員22名 引卒者3名	第1分区分I. C. G. F. 於、大田原文化会館 34名出席 職業奉仕サブリーダー 宮 沢 勝	会 員 卓 話 結婚時の思い出 羽 石 美代治 林 美知三 三 森 重 保	外 来 卓 話 最近の交通事故 大田原警察署 神 山 係 長	「最も重要な人物」 第三部 上映
月日	1 日	4 日	8 日	15 日	18 日
5 月	会 員 卓 話 仙台南R.C.を訪問 して 鈴 木 基 一	ローゼンヌ世界大会 出席 4名 小池保、伊藤(甲)、 渡辺、鈴木(伊)	会 員 卓 話 韓国を旅して 片股孝一 「最も重要な人物」 第四部 上映	ガバナー卓話 国際奉仕に特色を 滝 沢 信 二 アジア学院留学生 6名招待	渡辺弥八会員死亡 20日葬儀 鈴木会長 弔辞
	22 日	29 日			
月	会 員 卓 話 韓国水原R.C. W. ショア	外 来 卓 話 深山ダムの現況 建設事務所 次長 奏 昭			

月日	5 日	10 日	12 日	16～17日	19 日
6 月	<p>会員卓話 仙台南R.C.菊地 会長を賛えよう 鈴木基一</p>	<p>馬頭小川R.C. チャーターナイト 於、馬頭高校 21名出席</p>	<p>会員卓話 ローザンヌ大会に出 席して 小池保</p>	<p>地区協議会 於、下館商工会議所</p>	<p>会員卓話 65才の誕生日を迎え て W.ショア</p>
	<p>25 日</p> <p>四つのテストの碑 除幕式 於、中央公民館前庭 ガバナー卓話、滝沢G. 最終例会々長挨拶 於、昭和亭</p>	<p>26 日</p> <p>次期県内会長幹事会 於、栃木</p>			
月日	3 日	10 日	17 日	24 日	31 日
7 月	<p>新会長就任挨拶 宮沢勝</p>	<p>新副会長就任挨拶 鈴木伊勢松</p>	<p>クラブ協議会 各委員会本年度計画 について 於、中央公民館</p>	<p>会員、家族 健康診断</p>	<p>健康診断結果報告 正野節夫</p>
月日	7 日	14 日	18 日	21 日	28 日
8 月	<p>会員卓話 ローザンヌ世界大会 第二回 小池保</p>	<p>高校生海外教室 帰国報告</p>	<p>高校生海外教室帰国 座談会 於、中央公民館</p>	<p>外来卓話 アメリカより帰って 赤羽三男</p>	<p>会員卓話 冷暖房について 大塚直文</p>
月日	4 日	11 日	18 日	18 日	25 日
9 月	<p>クラブ協議会 各委員会報告</p>	<p>会員卓話 海外教室帰朝報告 W.ショア</p>	<p>外来卓話 各国の現況 アジア学院留学生 4名</p>	<p>新会員フォーラム</p>	<p>会員卓話 大津R.C.訪問 森利男</p>
月日	2 日	6 日	9 日	16 日	23 日
10 月	<p>外来卓話 国連FAO会議に出 席して 高見敏弘</p>	<p>地区年次大会 於、国学院栃木高校 38名出席 出席優秀クラブとし て表彰さる</p>	<p>会員卓話 結婚について 植竹徳重 黒須分区代理来訪</p>	<p>ガバナー公式訪問 小林英一ガバナー 黒須光雄分区代理</p>	<p>会員卓話 中年を過ぎたら 平野節夫</p>
	<p>30 日</p> <p>会員卓話 国旗について 森利男</p>				
月日	8 日	11 日	13 日	20 日	27 日
11 月	<p>創立二周年記念式 滝沢信二P.G. 堀江護特別代表 於、中公及びいとう</p>	<p>鹿島臨海R.C. チャーターナイト 於、神栖町立体育館 4名出席</p>	<p>会員卓話 脳卒中について 富野和之</p>	<p>クラブ協議会 国際奉仕の在り方 について</p>	<p>会員卓話 私の父親 古山正</p>
月日	4 日	11 日	18 日	25 日	
12 月	<p>会員卓話 運について 鈴木基一</p>	<p>外来卓話 日本経済の虚構と現 実 足銀調査部長 石原恒光</p>	<p>外来卓話 税について 大田原税務署長 田村光友</p>	<p>年末例会 会長より挨拶</p>	

1974年

月日	8 日	22 日	29 日		
1 月	年頭挨拶 会長 宮沢 勝 直前会長 鈴木 基一	ブリヂストン工場 見学 新年懇談会 於、いとう新館	外来卓話 米国教育視察 塩川 美好		
2 月	外来卓話 黒磯R.C.の現況 平山 正男 26 日 外来卓話 森林資源に就て 大田原営林署長 田代 太志	水戸南R.C. チャーターナイト 於、県民文化 センター 20名出席	会員卓話 フィリピンの旅 小池 保	会員卓話 私の戦争体験 佐藤 悦郎	1分区内会長 幹事会 於、氏家商工会館
3 月	クラブ年次総会 於、いとう 次年度理事選出 次年度会長選出	クラブ協議会 I.C.G.F.及び会 員増強について	1分区I.C.G.F. 於、町立鳥山体育館 出席30名 国際奉仕 サブリーダー 鈴木 伊勢松	I.C.G.F.感想 会員10名	会員卓話 子供の誕生 君島 詔二 酒造りについて 関谷 直人
4 月	外来卓話 アジア学院現況 高見 敏弘 留学生と交歓会 於、アジア学院 23 日 会員卓話 民謡 羽石 美代治	会員卓話 私の生いたち 塩川 兵三郎 30 日 会員卓話 従業員の定着 清水 俊夫	氏家R.C.10周年 記念式典 於、勝山城遊園地 14名出席	丸森R.C. チャーターナイト 於、丸館中学校 体育館 3名出席	会員卓話 丸森R.C. チャーターナイト 鈴木 基一
5 月	外来卓話 お茶について 瀬屋 梅仙 茶席設営	外来卓話 東南アジアの現況 高見 敏弘 留学生6名招待	会員卓話 「流れ」について 佐々木 照雄 私達夫妻 渡辺 陸男	家族会 深山ダム見学 懇親会 於、玉屋ホテル	
6 月	外来卓話 東欧ソ連視察 那工校長 前原 二男 25 日 年度最終例会 退任挨拶 会長 宮沢 勝 幹事 小池 保	県内会長幹事会 於、足利市民会館	外来卓話 社会福祉について 町民生委員長 相馬 一郎	会員卓話 東南アジアの日本 批判 福本 治夫	地区協議会 於、小山高校

月日	2 日	9 日	16 日	23 日	30 日
7 月	就任挨拶 会長 鈴木伊勢松 幹事 郡司 昌佳	クラブ協議会 予算、会費 バイセリア受け入れ	バストガバナー卓話 南米を旅して 滝沢 信二	クラブ協議会 バイセリア 受け入れ	分区代理挨拶 益子重雄 クラブ協議会
8 月	バイセリアR.C. 交歓歓迎会 於 いろいろ 40名来訪	バイセリアR.C. 渡辺次官招待 夕食会 於 千本松 レストハウス	クラブ協議会 バイセリアR.C. 受け入れ反省会	ショア会員 燐米送別会	
9 月	会員卓話 化石について 加藤 信夫 湯元について 君島 六郎	外来卓話 町政の現況 町長 阿久津 文一	外来卓話 小山R.C.の15年 佐藤 俊秀	外来卓話 シュバイツアの心 医博 高橋 功	
10 月	クラブ協議会 各委員会報告	外来卓話 アングウル遺骨収集 三森 太	会員卓話 セブR.C.、セブ南 R.C.訪問 鈴木 基一	外来卓話 相続と遺言 司法書士 片柳 万吉	会員卓話 社長健康法 羽石 美代治
11 月	創立三周年記念例会 於、いろいろ新館 滝沢バストガバナー 益子分区代理 堀江特別代表 26 日 外来卓話 研修状態について 高見 敏弘 アジア学院留学生 9名招待	1分区I.C.G.F 於、氏家商工会館 出席35名	会員卓話 自動車公害規制 小出 正夫	地区年次大会 於、日立市小平 会館 出席24名 出席優秀クラブとし て表彰さる。	会員卓話 ロータリーサイン 森 利男
12 月	会員卓話 アメリカ訪問 福本 治夫	クラブ協議会 ガバナー公式 訪問について	ガバナー公式訪問 於、ホテル ニュー塩原 田中達次郎G. 益子分区代理	会員卓話 除夜について 草野 栄竜	年末所感 会長 鈴木 伊勢松

1975年

月日	7 日	14 日	21 日	28 日	
1 月	年頭挨拶 会長 鈴木 伊勢松	会員卓話 人口と食糧 斎藤 豊吉	新年家族会 於、塩原 ガーデン	外来卓話 特殊学級の問題点 西中 藤井 和子	

月日	4 日	18 日	25 日		
2 月	クラブ協議会 国際奉仕及び 青少年問題	クラブフォーラム 国際奉仕 社会奉仕	外来卓話 定時制高校に就て 大東高 伊藤教頭 生徒表彰		
月日	4 日	11 日	18 日	25 日	
3 月	クラブ年次総会 於、いとう新館 次期理事選出 次期会長選出 次々期会長選出	外来卓話 1975年はおお云う 年か 中西重忠	挨拶 分区代理の指名を受け 鈴木基一	外来卓話 アメリカ演奏旅行 坂本勉 君島玉寿絵	
月日	1 日	8 日	15 日	23 日	
4 月	久保 浩会員 転勤送別会	外来卓話 町の玄関番として 西那須野駅長 石川新平	外来卓話 森林の計画と特色 大田原営林署長 田代太志	因R.C.合同例会 於、西信組、 いとう新館 記念卓話 成人病について 小平正	
月日	6 日	13 日	20 日	25 日	27 日
5 月	クラブ協議会 I.C.G.F. 交換学生に ついて	外来卓話 県土木部のあらし 大田原土木事務所長 小堀政雄	会員卓話 私の進むべき道 岡部稔	佐野東R.C. チャーターナイト 於、佐野西中 出席4名	アジア学院 留学生招待
月日	3 日	10 日	17 日	21～22日	24 日
6 月	クラブ協議会 バイセリアR.C.の 交換学生受け入れ	クラブフォーラム 交換学生に ついて	外来卓話 アジア学院研修生の 紹介 高見敏弘 留学生11名招待	地区協議会 於、石岡信金 一連の国際奉仕につ き「ガバナー賞」 受賞	家族会 於、塩原パークホテ ル 塩原名所通り 地区協議会報告 鈴木基一 退任挨拶 会長 鈴木伊勢松 幹事 郡司 昌佳
月日	1 日	8 日	15 日	22 日	29 日
7 月	就任挨拶 会長 草野 栄竜 幹事 古山 正	交換学生 永田、熊田両嬢 社行会	クラブ協議会 本年度各委員会活動 計画	分区代理激励及 前会長、前幹事 慰労会	会員卓話 戦後は終らない 佐藤悦郎
月日	5 日	12 日	19 日	26 日	
8 月	クラブ協議会 フォーラムの議題 について	クラブフォーラム クラブの社会に対 する責任 会員のクラブに対 する責任	外来卓話 那須野ヶ原の歴史 戸田小 磯 忍	会員卓話 盆について 草野 栄 竜 ドナ歓迎会 於、雲照寺	
月日	2 日	9 日	16 日	23 日	30 日
9 月	会員卓話 私の故里 小出正夫	アジア学院留学生 9名招待文歡	クラブ協議会 公式訪問について	ガバナー公式訪問 坂本ガバナー 分区代理 鈴木(基)	クラブフォーラム 事例と取り組みま しょう。

月日	7 日	14 日	18 日	21 日	28 日
10月	会員卓話 指導者の在り方 大野 尚一郎	外来卓話 青少年問題と家庭 桜井 謙一	地区情報研究会 於、宇都宮	地区情報研究会報告	クラブフォーラム 於、雲照寺 クラブで行う社会奉仕の在り方
月日	4 日	11 日	16 日	18 日	25 日
11月	クラブ協議会 フォーラムの まとめ	県内会長幹事会 (ホスト) 於、ホテル ニュー塩原	1分区L.C.G.F. (ホスト) 於、ホテルニュー塩原 会員増強サブリーグ - 鈴木伊勢松 新会員フォーラム リーダー-分区代理 鈴木 基一 出席44名	会員卓話 ソ連、ブルガリア 旅行 福本 治夫	外来卓話 正しい職業観 太田 正 規
月日	2 日	9 日	16 日	23 日	30 日
12月	アジア学院留学生 13名招待 各国代表挨拶	クラブ協議会 交換学生の経費につ いて	クラブ年次総会 於、いとう 次期理事選出 次々期会長選出	会員卓話 クリスマスの意義 福本 治夫	年末会長 挨拶 草野 栄 竜

1976年

月日	6 日	11 日	20 日	27 日	
1月	会長年頭挨拶 草野 栄 竜	会員卓話 養鶏について 相馬 順一	クラブフォーラム 職業奉仕について	新年家族会 於、いとう新館	
月日	3 日	10 日	17 日	24 日	24 ~ 25 日
2月	会員卓話 ボーイスカウトに ついて 森 利 男	クラブフォーラム ロータリー綱領の 応用何如	外来卓話 マラソンについて 町好走会 藤田 正 吉	分区代理卓話 R.I. 創立記念日 鈴木 基一	会員旅行 湯本温泉一泊
月日	2 日	9 日	16 日	23 日	30 日
3月	会員卓話 塩原温泉の歴史 君 島 久 造	黒羽R.C.との 交歓例会	大興電気工場見学 クラブ細則第11条の 変更承認	懇親放談会	外来卓話 特殊学級の現況 町特級教育成達協 佐藤 梅 雄
月日	6 日	10 ~ 11 日	13 日	20 日	27 日
4月	クラブ協議会 年次大会及び家族 会について	地区年次大会 於、真岡市民会館 ホスト、宇都宮R.C. クラブ奉仕サブリー ダー 鈴木 基一 出席38名 出席優秀クラブ表彰	年次大会報告 分区代理 鈴木 基一 会員卓話 バイセリア訪問 三 森 重 保	外来卓話 この不況はいつ脱出 出来るか 足銀調査部長 石原 恒 光	外来卓話 剣道について 星野 宗太郎

月日	4 日	11 日	16 日	18 日	25 日
5 月	会員卓話 さつき 土山幸三	クラブフォーラム 職業奉仕の 在り方	黒羽R.C. チャーターナイト 於、塩原文化会館 ホテルニュー塩原 出席52名	アジア学院留学生 との交歓 於、アジア学院	外来卓話 在宅訪問について 東小 小西教諭
6 月	クラブ協議会 次年度委員会の構成 について	会員卓話 私の経営について 佐々木照雄	五R.C.合同 懇談会 於、黒磯石山	交換留学生ドナ及び スコット両君送別会 於、雲照寺	クラブ協議会 国際青少年 関係について
	26～27日	29 日			
7 月	地区協議会 於、足利市民会館	退任挨拶 草野栄竜会長 古山正幹事			
7 月	6 日	13 日	20 日	27 日	
7 月	就任挨拶 会長 小池保 副会長 植竹徳重 幹事 小滝信光	クラブ協議会 各委員会本年度 活動計画	派米留学生帰国報告 永田、熊田 分区代理挨拶 関三郎	カゴメ工場見学 派米留学生帰国 歓迎会	
8 月	3 日	10 日	17 日	24 日	31 日
8 月	会員卓話 バイセリアの印象 都司昌佳	クラブ協議会 予算及び決算	外来卓話 地方自治について 町長 阿久津文一	納涼懇親会 於、塩原 パークホテル	会員卓話 誕生日因んで 三森重保
9 月	7 日	14 日	21 日	28 日	
9 月	外来卓話 アジア学院現況 高見敏弘 留学生5名招待	クラブ協議会 公式訪問について	ガバナー公式訪問 ガバナー江幡広松 分区代理 関三郎 於、ホテルニュー塩原	外来卓話 ニューギニア遺骨 収集 妙雲寺住職河瀬明一	
10 月	5 日	12 日	19 日	26 日	26 日
10 月	名誉会員 W.E. ショア歓迎会	外来卓話 教育を考える 元教育長(塩原町) 君島	会員卓話 サービスについて 羽石美代治 心臓破りのグム 富野和之	クラブ協議会 炉辺会合のテーマ	地区情報研究会 於、土浦京成 ホテル
11 月	2 日	9 日	14 日	16 日	30 日
11 月	クラブ協議会 優良従業員 表彰者選考	地区情報研究会報告	1 分区 I. C. G. F. 於、馬頭山村開発 センター 国際奉仕リーダー 草野栄竜 R.財団サブリーダー 小林正治	地区情報研究会報告	会員卓話 台湾視察旅行 澎湖R.C 訪問 大塩直文
12 月	7 日	14 日	21 日	28 日	
12 月	会員卓話 台湾澎湖島8ミリ 上映 鈴木基一	会員卓話 県自動車保有の実情 小出正夫	クラブ年次総会 次年度理事選出 次年度会長選出 次々年度会長選出 優良従業員表彰 於、いとう新館	年末挨拶 会長 小池保 幹事 小滝信光	

1977年

月日	4日	11日	18日	23日	
1月	会長年頭挨拶 小池保	新会員挨拶 戸田、広瀬、宮、城田	クラブアッセンブリー 五周年記念式典について	創立五周年記念式典 於、中央公民館 祝宴、いとう	
月日	1日	8日	15日	19日	22日
2月	新会員挨拶 鈴木洋利	会員卓話 ハワイ旅行 佐藤悦郎	外来卓話 警察署管内の問題点 見立登大田原署長	1、2分区クラブ奉仕 研究会 於、いとう	RC創立記念日卓話 小池保 クラブ奉仕研究会報告 小出正夫
月日	1日	8日	15日	22日	29日
3月	会員卓話 アルモアナRC訪問 福本治夫	会員卓話 RCに入会して 戸田白鳳 城田正男 クラブ研究会報告 伊藤俊三	会員卓話 彼岸のお話でない 彼岸の話 草野栄龍	県内会長幹事会報告 小池保 次期会長幹事会報告 小出正夫	外来卓話 心に残る話 小林剛
月日	5日	9～10日	12日	19日	26日
4月	外来ロータリアン卓話 ソ連、インド見聞記 小宮莊次郎	地区年次大会 於、水戸 32名出席	クラブフォーラム 地区年次大会に 出席して	外来卓話 保護司について 江連昇造	黒磯RCとの合同例会 於、晩翠閣 那須野ヶ原の地下水 について 提橋教頭
月日	10日	17日	24日	31日	
5月	クラブアッセンブリー ガバナー公式訪問 について	会員卓話 私の生いたち 中里正	国際大会出席者 仕行会 於、光雲荘	会員卓話 子供育成会について 宮利男	
月日	7日	14日	21日	26日	28日
6月	会員卓話 ヨーロッパ教育研修 戸田白鳳	会員卓話 バイセリア訪問につ いて 小池保	桑港国際大会報告 鈴木基一	地区協議会 於、那珂湊 8名出席	会長退任挨拶 小池保 幹事退任挨拶 小滝信光
月日	5日	12日	19日	26日	
7月	会長幹事就任挨拶 小出正夫 小林正治	クラブアッセンブリー ガバナー公式訪問 について	ガバナー公式訪問 瓜生ガバナー	四大奉仕委員長 所心表明	
月日	2日	9日	16日	23日	30日
8月	会員卓話 G. 公式訪問の 意義 鈴木基一	会員卓話 私の生いたちと 職業観 広瀬久 私の人生観 下平清人	会員卓話 盂蘭盆に思う 戸田白鳳	桑港国際大会 8mm映写 鈴木基一 於、元泉館	外来卓話 町の交通事情に ついて 大石勇幹部派 出所々長
月日	6日	16日	20日	27日	
9月	会員卓話 私の歩んだ道 君島隣	黒羽RC合同例会 於、黒羽藩	外来卓話 タイにての奉仕活動 長島清	外来卓話 最近の労基法上の諸問題 小林義彦	

月日	4 日	11 日	18 日	25 日	
10 月	会 員 卓 話 青少年問題について 宮 利 男	外来卓話(300回記念) 青少年活動週間に 因んで 植 竹 徳 重	那須製紙工場見学 及会員卓話 私の歩んだ道 城 田 正 男	クラブフォーラム 新人教育 草 野 栄 竜	
月日	1 日	8 日	15 日	20 日	22 日
11 月	外 来 卓 話 インドの現状 ミセスン	外 来 卓 話 アメリカ留学一年 韓 田 文 子	クラブアッセンブリー 情報研究会及び 財団週間につい て	地区情報研究会 (ホスト) 於、ホテルニュー 塩原	クラブアッセンブリー 情報研究会に ついて 鈴 木 基 一
	29 日				
月	黒羽RCとの合同 例会 於、塩原パーク ホテル				
月日	6 日	13 日	20 日	27 日	
12 月	創立六周年記念卓話 鈴 木 基 一	外 来 卓 話 教育演劇 らくりん座 浅 野 玲 子	クラブ総会 於 いたう	外 来 卓 話 米国に留学生として 永 田 美 佐 江	

1978年

月日	6 日	10 日	17 日	24 日	31 日
1 月	会 長 接 拶 新年を迎えて 小 出 正 夫	会 員 卓 話 加州及びバイセリア の印象 青 山 栄 一 郎	クラブフォーラム 炉辺会合報告	新年家族会 於、光雲荘	地区大会について 足利R.C.
月日	7 日	14 日	21 日	28 日	
2 月	外 来 卓 話 B.S.運動の現況 森 節 男	外 来 卓 話 福祉について 斉 藤 満	会 員 卓 話 八重垣島の思い出 M. パーベリー	クラブアッセンブリー 職業奉仕に ついて	
月日	7 日	14 日	28 日		
3 月	会 員 卓 話 パラオ島 三 森 重 保 私の生いたち 大 武 春 雄	会 員 卓 話 彼岸にちなんで 戸 田 白 鳳	会 員 卓 話 運動とは何か 大 塩 直 文		
月日	4 日	8 ~ 9 日	13 日	18 日	25 日
4 月	クラブアッセンブリー 少年少女合唱団 結成について	地区年次大会 於 足利	豪州GSE来訪 例会	地区年次大会報告	5 R.C. 親睦ゴルフ 大会例会
月日	2 日	9 日	12 日	16 日	30 日
5 月	優良従業員表彰	ボイヤー夫妻歓迎 例会	ボイヤー夫妻歓迎 レセプション 於、いたう	矢板RC合同例会 海外医療協力 奈 良 常 五 郎 於 いたう	会 員 卓 話 戦跡を訪ねて 三 森 美 夫

月日	7 日	11 日	13 日	20 日	27 日
6 月	外 来 卓 話 訪中団に参加して 鈴木利雄	地区協議会 於、栃木	地区協議会報告 佐藤悦郎 土山幸三	外 来 卓 話 財団留学生の 思い出 門馬英子	地区協議会報告 伊藤(俊)、君島(久) 蜂巣、小滝、吉田、 城田 退任挨拶 小出正夫 小林正治
7 月	西郡須野少年少女 合唱団結団式 於、中央公民館	就任挨拶 佐藤悦郎 土山幸三	就任挨拶 伊藤(俊)、小滝、 君島(久) 地区協議会R財団 報告 鈴木基一	各委員長就任挨拶	クラブアッセンブリー ガバナー公式訪問 について
8 月	湯原竹之助 ガバナー公式訪問	ガバナー公式訪問を 終って、クラブアッ センブリー	滝沢P.G.を訪問 して 鈴木基一	会 員 卓 話 公式訪問について 大塚直文	外 来 卓 話 中国を訪ねて 上山光義
9 月	会 員 卓 話 企業としての製紙 城田正男	会 員 卓 話 原稿の書き方 戸田白鳳	会 員 卓 話 塩原温泉について 後 閑 義 男 ゴルフ雑感 狐塚敏雄	外 来 卓 話 子供は21世紀からの 大切な留学生 伊藤英治	
10 月	外 来 卓 話 合唱について 須藤春夫	事業所見学 千本松農場	会 員 卓 話 自動車について 小林正一	地区年次大会 於 土浦	地区年次大会報告 佐藤、土山、 伊藤(俊)
11 月	西郡須野少年少女 合唱団の演奏につ いて 小滝信光	会 員 卓 話 R財団週間によせて 鈴木基一 生かせ、いのち 大森電全	クラブフォーラム クラブ役員の選挙 について	外 来 卓 話 アジア学院の現況 高見敏弘	
12 月	アジア学院留学生 のホームステイを 終って	クラブ創立7周年 記念卓話 鈴木基一	クラブ年次総会 於、いとう	会 員 卓 話 歳末感あり 佐藤悦郎	

1979年

月日	4 日	9 日	16 日	21 日	30 日
1 月	年 頭 挨拶 佐藤悦郎	外 来 卓 話 ことばの教室 小池貞雄	クラブフォーラム プログラムに ついて	新年家族会 於 塩原静観荘	外 来 卓 話 今後の経済見通し 石原恒光

月日	6日	13日	20日	27日	
2月	会員卓話 私の生いたち 藤原春吉 小沢恒明	外来卓話 農業面の心配ごと 横山茂之	クラブフォーラム W.C.S. 3H 組合せ地区	地区対地区の報告会 吉田美雄 バーベリー	
月日	6日	13日	20日	27日	
3月	会員卓話 注射針について 金子幸夫 私の生いたち 大武春雄	三クラブ合同例会 於、晩翠閣 知恵遅れの人達の 幸福を求めて 深谷勝樹	会員卓話 私の職業観 佐々木鉄雄 国立塩原病院について 富田勲 私の生いたち 伊藤祐藏	次期クラブ役員のため のグループ会合報告 会員卓話 私の職業 渡辺保生	
月日	1日	3日	10日	17日	24日
4月	I.G.F. 於、矢板	I.G.F.報告会	会員卓話 戦争で得た教訓 城田正男	家族会 奥の細道を訪ねて 黒羽史跡巡り	会員卓話 雑誌選間に因んで 色紙頒布 下平清人
月日	1日	8日	15日	22日	29日
5月	会員卓話 中国印象記 戸田白鳳	会員卓話 私について 高瀬千治 私の仕事 岡部稔 大切な事 下平清人	ローマ国際大会 出席者社行会 於、元泉館	会員卓話 南方の露と散った 勇士の墓参 三森重保 岩舟R.C.チャータ ーナイト参加報告 伊藤俊三	外来卓話 玄米自然食に ついて 田中勇
月日	5日	12日	19日	26日	
6月	第一分区次期 会長、幹事会報告	会員卓話 私の職業分類に ついて 井上正夫 江連和雄	ローマ国際大会報告 鈴木基一 佐藤悦郎 城田正男	会長退任挨拶 佐藤悦郎 幹事退任挨拶 土山幸三 優良従業員表彰 於、いとう	
月日	3日	10日	17日	24日	31日
7月	会長就任挨拶 伊藤俊三 幹事就任挨拶 室井行男	クラブアッセンブリー 四大奉仕部門 について	外来卓話 職業奉仕の在り方 について 星野泰三	会員卓話 塩原C.C.について 狐塚敏雄	地区委員長会議 報告 鈴木基一
月日	7日	14日	21日	28日	
8月	会員卓話 じゅうたん等の防災 規制について 森利男	クラブアッセンブリー 各小委員会に ついて	外来卓話 職業の倫理化 星野泰三	会員卓話 私の歩んだ道 笠間久吉 忘れ得ぬ女 坂内栄治	
月日	4日	11日	18日	25日	
9月	外来卓話 町の現況について 阿久津文一	外来卓話 BBS会について 草野知明	クラブ奉仕都市連合 研究会に出席して 君島六郎	外来卓話 ロータリーと職業 奉仕 星野泰三	

月日	2 日	9 日	14 日	16 日	23 日
10 月	<p>会員卓話 アジア地域大会に 参加して 鈴木基一 佐藤悦一郎 大塩直文</p> <p>30 日</p> <p>クラブアッセンブリー G.公式訪問に ついて</p>	<p>会員卓話 国際奉仕委員長会議 に出席して 江連和雄</p>	<p>第一分区I.G.F. 於、黒羽</p>	<p>I.G.F.報告 クラブアッセンブリー</p>	<p>外來卓話 私と竹細工 八木沢蒼環</p>
月日	6 日	13 日	20 日	27 日	
11 月	<p>ガバナー公式訪問 齊藤五一ガバナー</p>	<p>会員卓話 R.財団週間によ せて 大塩直文 新生中国訪問 小池保</p>	<p>外來卓話 防犯、交通事故に ついて 向田武治</p>	<p>会員卓話 職業奉仕委員長 研修会に出席して 城田正男</p>	
月日	4 日	11 日	18 日	25 日	
12 月	<p>会員卓話 クラブ創立記念日を 迎えて 草野栄竜</p>	<p>外來卓話 観光地塩原について 田代義徳</p>	<p>クラブ年次総会</p>	<p>外來卓話 経済情勢について 木多国彦</p>	

1980年

月日	8 日	22 日	29 日		
1 月	<p>年頭挨拶 伊藤俊三 新年偶感 草野栄竜</p>	<p>会員卓話 新生中国訪問 小池保</p>	<p>会員卓話 年賀状の作り方 下平清人</p>		
月日	5 日	12 日	19 日	26 日	
2 月	<p>訪比団社行会</p>	<p>外來卓話 ラオスの現況に ついて ケオ・インタボンサ</p>	<p>会員卓話 R.I.75周年にあたり 伊藤俊三</p>	<p>外來卓話 自分で考え行動でき る子の育成 西崎京子</p>	
月日	4 日	11 日	18 日	25 日	
3 月	<p>会員卓話 訪比報告 城田正男</p>	<p>会員卓話 パラオ島蕃参 三森重保</p>	<p>外來卓話 東芝那須工場に ついて 渡辺孝一郎</p>	<p>黒羽RCとの合同 例会 於、黒羽花月</p>	
月日	1 日	8 日	15 日	19 日	22 日
4 月	<p>外來卓話 鉄砲の名称を訪ねて 猪熊幸夫</p>	<p>工場見学 カゴメ那須工場</p>	<p>会員卓話 社会奉仕委員長会議 に出席して 戸田白鳳</p>	<p>255地区年次大会 於、宇都宮文化会館 少年少女合唱団演奏</p>	<p>クラブアッセンブリー 地区年次大会に ついて</p>

月日	6日	13日	18日	27日	
5月	会員卓話 社会福祉関係法について 富田 勳	外来卓話 養護教育の現況 小林 武寛	国際大会出席者 社行会並びに 家族会 於、柏屋	外来卓話 高金利時代の背景と 今後の見通し 木多 国彦	
月日	3日	10日	17日	25日	29日
6月	会員卓話 母の子守唄今に聞く 三森 美夫	R. I. 75周年記念公 開講演会 於、東小 私の見た子供の世界 吉岡 たすく	シカゴ75周年国際 大会参加報告 佐藤 悦郎	会長退任挨拶 伊藤 俊三 幹事退任挨拶 室井 行男 優良従業員表彰	地区協議会 於、真岡
月日	1日	8日	15日	22日	29日
7月	会長就任挨拶 君島 六郎 幹事就任挨拶 関谷 直人	クラブアッセンブリー 地区協議会を 終って	クラブアッセンブリー ガバナー公式訪問 について	ガバナー公式訪問 中島 鎮太郎 ガバナー	夏季交歓訪米学生 社行会
月日	5日	12日	19日	26日	
8月	クラブアッセンブリー ガバナー公式訪問 を終って	外来卓話 現在及び80年代の 雇用問題 赤羽 時夫	外来卓話 西那須野少年少女 合唱団について 須藤 春夫	会員卓話 太平洋戦争回顧 君島 隣	
月日	2日	9日	16日	30日	
9月	訪米学生帰国報告 青山倫久、福本野百合 鈴木裕紀子、大塚まみ 郡司 佳子、郡司 千博	会員卓話 地区青少年奉仕委員 長会議報告並びに 私見 鈴木 基一	外来卓話 会員増強と出席 木村 義国	クラブアッセンブリー 国際、会員増強、 クラブ奉仕につい て	
月日	7日	10～11日	14日	21日	28日
10月	会員卓話 私の唱え言 城田 正男	地区年次大会 於、下館	クラブアッセンブリー 地区年次大会を 終って	会員卓話 秩父宮妃殿下を お迎えして 伊藤 俊三 水について 中里 正	外来卓話 生きた芸術品 佐藤 実師
月日	4日	11日	18日	25日	
11月	会員卓話 人生における所感 福本 治夫	会員卓話 R.財団週間によせ て 伊藤 俊三	外来卓話 国鉄及び西那須野駅 の現況 山崎 恵一郎	比国 382地区訪日団 歓迎会並びにWCS 訪比団社行会	
月日	2日	9日	16日	23日	28日
12月	会員卓話 捨無量 草野 栄電	会員卓話 382地区パラニアッ ケRCのW. C. S. プロジェクトの実態 調査 鈴木 基一	クラブ年次総会 於、いとう	会員卓話 クラブ9周年を 迎えて 鈴木 伊勢松	年末の言葉 君島 六郎

1981年

月日	6日	13日	20日	27日	
1月	会員卓話 年頭のことば 君島六郎 関谷直人	会員卓話 香辛料について 鈴木洋利	会員卓話 酒は何故飲みたく なる 大塩直文	新年家族会 於、塩原パーク ホテル	
2月	会員卓話 涙のお立酒 君島久造	黒羽RC合同例会 於、光雲荘 観世流「経正」 鈴木和雄 草野栄竜 城田正男	クラブアッセンブリー 次期役員のための グループ会合に ついて	会員卓話 R. I. 75周年国際 大会について 鈴木基一	
3月	「次期役員のための グループ会合」 (ホスト) 於、ホテルニュー塩原	クラブアッセンブリー 次期役員のための グループ会合を 終って	会員卓話 相続税について 渡辺陸男	会員卓話 IGF出席について 鈴木基一	第一分区I. G. F. 於、大田原岩井屋
	24日	31日			
	会員卓話 私の履歴書 佐藤悦郎 私を知って貰う為に 伊藤義明	会員卓話 RCに於ける私の 思い出 土山幸三			
4月	7日	14日	21日	28日	
	会員卓話 体育協会と社会体育 について 室井行男	会員卓話 雑誌週間によせて 富田勲	会員卓話 我が国の木材に ついて 小林正治	東芝那須工場見学	
5月	12日	19日	26日		
	クラブアッセンブリー クラブ創立10周年 について	外来卓話 競争馬の誕生に ついて 駒野道夫	親睦観劇会 歌舞伎「釣」		
6月	2日	9日	16日	21日	23日
	会員卓話 改正印紙税法 渡辺陸男	会員卓話 中国を訪問して 福本治夫	クラブアッセンブリー クラブ創立10周年 について	地区協議会 於、常陸太田	地区協議会報告 鈴木基一 大塩直文 森利男 会員卓話 素晴らしい職業奉仕 広瀬久 私の未来の家 バーベリー
	28日				
	会長退任挨拶 君島六郎 幹事退任挨拶 関谷直人				
7月	7日	14日	21日	28日	
	会長就任挨拶 大塩直文 幹事就任挨拶 小沢恒明 分区代理就任挨拶 鈴木和雄	四大奉仕委員長挨拶 森利男 小池保 宮利男 マリオ・バーベリー	外来卓話 高校教育について 吉田正一	会員卓話 馬と私 駒野道夫 私の生いたちと 考え方 吉田保夫	

月日	4 日	11 日	18 日	25 日	
8 月	クラブアッセンブリー ガバナー公式訪問 について	ガバナー公式訪問 大橋章ーガバナー	バイセリア交歓学生 歓迎例会 5名来訪	バイセリア交歓学生 送別例会 於、千本松レスト ハウス	
月日	1 日	8 日	22 日	29 日	
9 月	会員卓話 私の生いたちと 考え方 高野 三 郎	外来卓話 ロータリーと合唱団 宮 沢 義 次 健全なメロデーと 歌詞 鈴木 典 子 私は合唱団を自慢 したい 森 谷 信 代	外来卓話 福祉行政について 佐 藤 重 智	クラブアッセンブリー I. G. F. について	
月日	4 日	6 日	13 日	20 日	27 日
10 月	第一分区 I. G. F. (ホスト) 於、町中央公民館 留学生より見た日本	会員卓話 I. G. F. に出席して 吉 田 保 夫 旅行での感じ方 金 子 哲 也	外来卓話 財政再建を考える 大 谷 進	会員卓話 職業奉仕週間に よせて 宮 利 男 私のホテル経営 岡 部 稔	外来卓話 タイ農民の意識変革 を夢みて ビバット・チャスリン
月日	10 日	17 日	24 日		
11 月	外来卓話 言葉の教室 五味 潤 範	会員卓話 R. 財団週間に よせて 井 上 正 夫	外来卓話 蛇尾川発電所建設に ついて 金 谷 勇		
月日	1 日	8 日	13 日	14 日	22 日
12 月	会員卓話 太平洋地域大会に 参加して 佐 藤 悦 郎 君 島 六 郎 鈴木 伊勢松	クラブアッセンブリー 10周年記念式典に ついて	クラブ創立10周年 記念式典 於、ホテルニュー 塩原 記念講演 国際理解と平和 高 見 敏 弘	クラブ年次総会 於、いとう	会員卓話 日台教会々議に 出席して 福 本 治 夫
	29 日				
	会長卓話 年末に際して 大 塩 直 文				

1982年

月日	5 日	12 日	19 日	26 日	31 日
1 月	会長年頭の挨拶 大 塩 直 文	クラブアッセンブリー ガバナーノミニ 推薦について 大橋ガバナー 坂本バスターガバ ナー	会員卓話 貸借について 渡 辺 陸 男	会員卓話 シニアの健康を考 えよう 佐 藤 悦 郎 スマイルBoxあれ これ 高 瀬 千 治	新年家族会 於、光雲荘

月日	9 日	16 日	23 日		
2 月	会員卓話 私の酪農 伊藤 義明	外来卓話 消防について 磯 寅雄	会員卓話 建築について 斉藤 豊吉		
月日	2 日	9 日	16 日	23 日	30 日
3 月	外来卓話 平和と開発 ソーマ・ガイザー (ビルマ)	外来卓話 人の話を良くきこう 阿久津 文一	ガバナーノミニー、 地区役委員就任激励 会並びに訪比団社行 会 於、いとう	クラブアッセンブリー 合唱団訪比に ついて	訪比帰朝報告
月日	6 日	13 日	20 日	24～25 日	27 日
4 月	会員卓話 訪比に同行して マリオ・C. パーベリー	会員卓話 まんだらの心 大森 仁竜	会員卓話 21世紀をめざした 町づくり 高野 三郎	地区年次大会 於、佐野文化会館 鈴木G.N. 挨拶	会員卓話 地区大会に 出席して 大野 千里 植竹 幸重
月日	4 日	11 日	19 日	25 日	
5 月	外来卓話 塩原町政について 君島 五一	会員卓話 私の職業 伊藤 祐蔵	組合セクラブ フィリピン、3 82地区レガスピー R.C. 歓迎例会	会員卓話 流鏝馬考 君島 陽	
月日	1 日	8 日	18 日	19～20 日	22 日
6 月	米山奨学生李源珠 卓話並びに紹介 カウンセラー 鈴木 基一	外来卓話 BBS運動 草野 知明	黒羽RC合同例会 於、花月 卓話ロータリアンと して想うこと G.N. 鈴木 基一	地区役委員会 地区協議会 於、ホテルニュー 塩原	地区協議会報告 森 利男 帰朝報告 (グラス大会) 城田 正男
	29 日				
	最終例会 退任挨拶 大塚 直文会長 小沢 恒明幹事				

(2) 各年度クラブ役員並びに委員長

クラブ役員及び理事

年 度	1971-72	1972-73	1973-74	1974-75	1975-76	1976-77
会 長	鈴木 基一	鈴木 基一	宮沢 勝	鈴木伊勢松	草野 栄竜	小池 保
副 会 長	三森 重保	三森 重保	鈴木伊勢松	草野 栄竜	小池 保	植竹、小出
幹 事	藤森 武雄	小出 正夫	梨本、小池	郡司 昌佳	吉山 正	小滝 信光
S. A. A.	林 美知三	伊藤 俊三	伊藤 俊三	吉田 美雄	室井 行男	関谷 直人
会 計	梨本 欣司	梨本 欣司	久保 浩	奈良部 昭	奈良部 昭	石川 耕蔵
理 事	鈴木 基一 三森 重保 藤森 武雄 宮沢 勝 草野 栄竜 伊藤甲太郎 塩川兵三郎	鈴木 基一 三森 重保 藤森 武雄 宮沢 勝 草野 栄竜 伊藤甲太郎 塩川兵三郎	宮沢 勝 鈴木伊勢松 小池 保 伊藤 俊三 大塩 直文 鈴木 基一 小出 正夫 大野尚一郎	鈴木伊勢松 草野 栄竜 吉田 美雄 宮沢 勝 小滝 信光 手塚 徳次 福本 治夫 羽石美代治	草野 栄竜 小池 保 関谷 直人 鈴木伊勢松 森 利男 佐藤 悦郎 植竹 徳重 小林 正治	小池 保 植竹 徳重 草野 栄竜 加藤 信夫 君島 六郎 土山 幸三 片股 孝一 室井 行男

年 度	1977-78	1978-79	1979-80	1980-81	1981-82	1982-83
会 長	小出 正夫	佐藤 悦郎	伊藤 俊三	君島 六郎	大塩 直文	森 利男
副 会 長	佐藤 悦郎	伊藤 俊三	君島 六郎	大塩 直文	森 利男	城田 正男
幹 事	小林 正治	土山 幸三	室井 行男	関谷 直人	小沢 恒明	高瀬 千治
S. A. A.	大武 春雄	森 透	井上 正夫	大森 仁竜	小滝 信光	手塚 徳次
会 計	石川 耕蔵	石川 耕蔵	池沢 信弘	池沢 信弘	吉田 保夫	吉田 保夫
理 事	小出 正夫 佐藤 悦郎 小池 保 郡司 昌佳 伊藤 俊三 岡部 稔 井上 正夫 青山栄一郎	佐藤 悦郎 伊藤 俊三 吉田 美雄 小滝 信光 室井 行男 蜂巣 栄 君島 久造	伊藤 俊三 君島 六郎 渡辺 陸男 齊藤 豊吉 城田 正男 戸田 白鳳 江連 和雄	君島 六郎 大塩 直文 君島 隣 広瀬 久 中里 正 手塚 徳次 鈴木 基一	大塩 直文 森 利男 小池 保 岡部 稔 城田 正男 宮 利男 マリオ・ パーベリー	森 利男 城田 正男 伊藤 俊三 井上 正夫 小滝 信光 伊藤 祐蔵 富田 勲

委員長

年 度	1971-72	1972-73	1973-74	1974-75	1975-76	1976-77
クラブ奉仕	三森 重保	三森 重保	鈴木伊勢松	草野 栄竜	小池 保	植竹、小出
出 席	大塩 直文	大塩 直文	井上 正夫	斉藤 豊吉	君島 六郎	江連 和雄
職業分類	大野尚一郎	大野尚一郎	吉田 美雄	宮沢 四郎	高橋 正男	渡辺 陸男
会 報	川上壮之助	川上壮之助	小滝 信光	小林 正治	沢口 謙三	吉田 美雄
親睦活動	井上純一郎	井上純一郎	室井 行男	古山 正	関谷 直人	君島 久造
雑 誌	福本 治夫	福本 治夫	手塚 徳次	関谷 直人	加藤 信夫	岡部 稔
会員選考	小出 正夫	林 美知三	片股 孝一	佐藤 悦郎	青山栄一郎	佐藤 悦郎
会員増強	鈴木伊勢松	鈴木伊勢松	土山 幸三	蜂巣 栄	鈴木伊勢松	伊藤 俊三
プログラム	渡辺 弥八	渡辺 弥八	小林 正治	森 利男	森 透	斉藤 豊吉
広 報	小池 保	小池 保	鈴木 基一	宮沢 勝	郡司 昌佳	佐々木照雄
R. 情報	宮沢 勝	宮沢 勝	大塩 直文	鈴木 基一	宮沢 勝	小出 正夫
スマイルBOX	—	—	宮沢 四郎	伊藤 俊三	渡辺 陸男	相馬 順一
職業奉仕	伊藤甲太郎	伊藤甲太郎	小出 正夫	手塚 徳次	佐藤 悦郎	土山 幸三
社会奉仕	草野 栄竜	草野 栄竜	小池 保	小滝 信光	森 利男	加藤 信夫
青 少 年	—	—	森 利男	植竹 徳重	大塩 直文	君島 六郎
国際奉仕	塩川兵三郎	塩川兵三郎	大野尚一郎	福本 治夫	植竹 徳重	片股 孝一
R. 財団	手塚 徳次	藤森 武雄	郡司 昌佳	羽石美代治	小林 正治	室井 行男
国際青少年	—	—	福本 治夫	富野 和之	福本 治夫	—

年 度	1977-78	1978-79	1979-80	1980-81	1981-82
クラブ奉仕	佐藤 悦郎	伊藤 俊三	君島 六郎	大塩 直文	森 利男
出 席	室井 行男	渡辺 陸男	山口 正春	森 利男	小林 正治
職業分類	富野 和之	郡司 昌佳	小滝 信光	小林 正治	土山 幸三
会 報	手塚 徳次	関谷 直人	広瀬 久	伊藤 祐蔵	高瀬 千治
親睦活動	森 利男	君島 六郎	渡辺 陸男	中里 正	富田 勲
雑 誌	蜂巣 栄	下平 清人	狐塚 敏雄	鈴木 洋利	大森 仁竜
会員選考	鈴木 基一	手塚 徳次	君島 隣	福本 治夫	狐塚 敏雄
会員増強	森 透	江連 和雄	中里 正	城田 正男	鈴木 基一
プログラム	鈴木伊勢松	戸田 白鳳	斉藤 豊吉	岡部 稔	郡司 昌佳
広 報	加藤 信夫	城田 正男	金子 哲也	佐藤 悦郎	岡部 稔
R. 情報	草野 栄竜	大塩 直文	小池 保	小出 正夫	佐藤 悦郎
スマイルBOX	君島 六郎	大武 春雄	小林 正一	渡辺 保生	笹沼 幸雄
75週年記念	—	—	佐藤 悦郎	—	—
職業奉仕	伊藤 俊三	蜂巣 栄	城田 正男	広瀬 久	宮 利男
社会奉仕	青山栄一郎	君島 久造	戸田 白鳳	君島 隣	小池 保
青 少 年	井上 正夫	小滝 信光	宮 利男	鈴木 基一	城田 正男
国際奉仕	郡司 昌佳	吉田 美雄	江連 和雄	手塚 徳次	マリオ・ハーベリー
ロータリー財団	岡部 稔	鈴木 基一	大塩 直文	伊藤 俊三	井上 正夫
3 H	—	—	鈴木伊勢松	富田 勲	—

(3) 年度別会員数及び出席率

年度	月	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	年平均 地区内順位
		7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	
1971 ~72	会員数						27	26	25	25	28	28	31	97.31 % 10位
	出席率						92.59	94.23	99.20	97.00	98.17	100	100	
1972 ~73	会員数	31	32	32	32	31	38	38	38	36	36	33	32	97.70 % 10位
	出席率	95.99	96.88	96.10	95.97	98.54	100	99.47	97.35	96.53	97.92	99.65	100	
1973 ~74	会員数	31	34	43	43	43	44	43	42	42	46	47	47	98.06 % 9位
	出席率	98.08	98.44	98.25	100	95.45	95.93	94.57	98.81	97.62	99.57	99.47	100	
1974 ~75	会員数	45	43	46	46	46	46	45	47	47	47	47	48	98.32 % 8位
	出席率	96.44	93.33	96.68	98.26	97.83	98.67	99.46	97.87	97.33	98.99	100	100	
1975 ~76	会員数	48	47	46	47	48	48	48	47	46	48	48	47	99.10 % 4位
	出席率	97.08	98.93	98.26	98.39	98.43	100	100	100	100	100	98.95	99.16	
1976 ~77	会員数	47	48	48	48	47	46	53	54	54	53	53	53	97.81 % 10位
	出席率	96.78	96.92	96.36	100	96.80	100	100	99.54	94.54	99.07	97.64	96.17	
1977 ~78	会員数	52	53	53	53	53	53	53	54	54	53	53	53	99.81 % 6位
	出席率	98.10	99.62	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	
1978 ~79	会員数	53	53	53	53	53	52	60	60	60	60	58	57	99.73 % 5位
	出席率	100	99.61	99.61	85.56	100	100	100	99.12	100	100	100	100	
1979 ~80	会員数	57	59	59	59	59	58	58	58	58	60	61	61	99.69 % 3位
	出席率	99.31	100	100	99.31	100	100	99.41	99.12	99.12	100	100	100	
1980 ~81	会員数	61	62	62	62	62	61	61	63	64	64	64	64	99.74 % 7位
	出席率	99.67	99.15	99.59	99.59	99.59	99.69	99.69	100	100	100	100	100	
1981 ~82	会員数	66	66	66	65	64	63	63	64	64	64	64	64	99.91 % 4位
	出席率	100	99.62	99.24	100	100	100	100	100	100	100	100	100	

◆ 100%出席年数別一覽表(年数別皆出席者名)：1981年12月末現在

- (1) 10ヶ年皆出席者 井上 正夫 伊藤 俊三 小出 正夫 小池 保 小滝 信光
大塩 直文 鈴木伊勢松 鈴木 基一 土山 幸三 吉田 美雄
- (2) 9ヶ年皆出席者 福本 治夫 郡司 昌佳 小林 正治 三森 重保 森 利男
齊藤 豊吉 手塚 徳次
- (3) 8ヶ年皆出席者 青山栄一郎 古山 正 君島 六郎 室井 行男 佐藤 悦郎
関谷 直人 渡辺 陸男
- (4) 7ヶ年皆出席者 岡部 稔
- (5) 6ヶ年皆出席者 君島 久造 森 透
- (6) 5ヶ年皆出席者 君島 隣 小林 正一 草野 栄龍 宮 利男 中里 正
城田 正男 鈴木 洋利 戸田 白鳳 山口 正春
- (7) 4ヶ年皆出席者 狐塚 敏雄 M.C.ハーベリー 大森 仁龍
- (8) 3ヶ年皆出席者 藤原 春吉 広瀬 久 伊藤 祐蔵 大武 義雄 小沢 恒明
高瀬 千治 富田 勲
- (9) 2ヶ年皆出席者 三森 美夫 坂内 栄治 笹沼 幸雄

(4) ロータリー財団年度別実績

● 年 表

年 度	基 準 会 員 数	年間寄付額	年 間 達 成 率	寄付累計額	累 積 達 成 率	1名当り 寄 付 額	委 員 長
1971～1972	27名	310.02\$	100%	310.02\$	100%	11.4 \$	手塚 徳次
1972～1973	27	336.71	100	646.73	200	12.4	藤森 武雄
1973～1974	38	1,341	300	1,987.73	500	35.1	郡司 昌佳
1974～1975	45	1,785	300	3,772.73	800	39.7	羽石美代治
1975～1976	48	2,020	400	5,792.73	1200	42.0	小林 正治
1976～1977	48	2,730.72	600	8,523.45	1800	56.8	室井 行男
1977～1978	46	3,725.31	800	12,248.76	2600	80.9	岡部 稔
1978～1979	53	6,459	1200	18,743.76	3800	122.5	鈴木 基一
1979～1980	52	2,715	500	21,458.76	4300	52.2	大塩 直文
1980～1981	58	5,220	700	26,678.76	5000	85.57	伊藤 俊三
1981～1982	61	4,783	700	31,461.76	5700	75.92	井上 正夫

● ポール・ハリスフェロー名簿 (13名)

城田正男	城田たつ (城田会員夫人)	福本治夫	鈴木基一	小林正治
君島六郎	小池 保	君島 隣	伊藤甲太郎 (元会員)	小滝信光
三森重保	岡部 稔	鈴木伊勢松		

● ポール・ハリス準フェロー名簿 (43名)

草野栄龍	関谷直人	伊藤俊三	吉田美雄	郡司昌佳
森 透	古山 正	室井行男	森 利男	土山幸三
渡辺陸男	大塩直文	佐藤悦郎	小出正夫	井上正夫
中里 正	斉藤豊吉	手塚徳次	山口正春	金子哲也
君島久造	坂内栄治	藤原春吉	広瀬 久	伊藤祐藏
小林正一	大森仁龍	笹沼幸雄	高瀬千治	戸田白鳳
富田 勲				
元会員	大武春雄	蜂巣 栄	片股孝一	渡辺保生
笠間久吉	江連和雄	金子幸夫		

(5) 255地区役委員

1974 ~ 75	宮 沢 勝	世界社会奉仕委員
1975 ~ 76	鈴 木 基 一	栃木第一分区代理
1976 ~ 77	鈴 木 伊勢松	クラブ会員増強並びに職業分類委員
1977 ~ 78	草 野 栄 龍	ロータリー財団推進委員
1978 ~ 79	鈴 木 基 一	世界社会奉仕委員
1979 ~ 80	鈴 木 基 一	世界社会奉仕委員長
1980 ~ 81	鈴 木 基 一	世界社会奉仕委員
1981 ~ 82	鈴 木 基 一	青少年交換並びに歓待委員
◇	鈴 木 基 一	ガバナーノミニー
1982 ~ 83	鈴 木 基 一	ガバナーノミニー
◇	鈴 木 伊勢松	地 区 幹 事
◇	伊 藤 俊 三	地 区 資 金 委 員
◇	佐 藤 悦 郎	栃木第一分区代理

(6) 地区及び分区行事ホスト表

- 1975年11月11日 栃木県内会長幹事会
於. ホテルニュー塩原
- 1975年11月16日 栃木第一分区I.G.F.
於. ホテルニュー塩原
- 1977年 2月19日 栃木第一、第二分区クラブ奉仕研究会
於. いとう
- 1977年11月20日 地区ロータリー情報研究会
於. ホテルニュー塩原
- 1981年 3月 1日 次期役員の為のグループ会合
於. ホテルニュー塩原
- 1981年10月 4日 栃木第一分区I.G.F.
於. 西那須野町中央公民館
- 1982年 9月18日 地区クラブ奉仕研究会
於. ホテルニュー塩原

(7) 各種表彰

- 1972～73 出席優秀クラブ
- 1973～74 出席優秀クラブ
- 1974～75 ガバナー賞 (国際奉仕活動)
出席優秀クラブ
- 1975～76 出席優秀クラブ

- 1976～77 国際ロータリー「意義ある業績賞」の認証
(国際親善奉仕活動)
出席優秀クラブ、ロータリー財団寄附優秀クラブ
- 1977～78 出席優秀クラブ
- 1978～79 ガバナー賞(青少年奉仕活動)
青少年奉仕活動優秀クラブ、出席優秀クラブ、
ロータリー財団寄附優秀クラブ
- 1979～80 国際ロータリー「意義ある業績賞」の認証
(青少年奉仕活動)
出席優秀クラブ
- 1980～81 青少年奉仕活動優秀クラブ、出席優秀クラブ
- 1981～82 出席優秀クラブ、
マッキヤフリーR I会長の「世界理解平和賞」
(ダラス国際大会)
フィリッピン4地区ガバナー感謝状

第十三章 会員プロフィール



青山栄一郎

大正11年9月20日生

昭和49年5月7日入会

職業分類：旅 館

——私についてのR.C.——

入会して五年余になりますが、いまだに「奉仕」とは何かという理解への入口に立ったかなと思う程度で、社会奉仕とは、職業奉仕とは等、ロータリークラブの諸会合で、再々研修をうけるのですが、仲々これを自分のものとする事が出来ません。しかし、最近自分なりに気がつくことですが私についてのR.C.とはR.C.に入会以来、むしろ奉仕を受けたと申しますか、R.C.

及び会員諸兄より恩恵を受ける機会が多かったと云うことです。

私にとって「奉仕とは」を考える場合、「何をなすべきか」というより、これ迄に自分が「どんな奉仕（恩恵）を受けたか」を考えることも「奉仕とは」を理解する場合の一つの近道と思います。

今後、このことにつき、何かと会員諸兄のお指導をお願いする次第です。



安西久親

昭和12年2月7日生

昭和55年10月28日入会

職業分類：相互銀行

—————R.C.に入会して—————

現在R.C.は県内に多数あります。その中で当クラブは躍進を続ける優秀クラブで、その会員たることは名誉なことでもあります。

私も一年半たちまして、その間勉強会、炉辺会合、家族会、十周年記念行事等に出席しまして、数多くの知識を身につけ、人間として一廻り大きくなったように思います。

私も過去にいくつかの会に入会し、設立にも参画して参りました。会とは、どんな

優秀な人材で構成されても、企画立案がどんなに良くても、出席が悪ければ会の運営は出来ません。会とは、人が集まり個々の知識を出し合っこそ会が運営されるものだと思います。

私はこれからも皆に喜ばれ、気軽に集まれる企画で奉仕したいと思います。そして職業奉仕を通し地域社会発展の為に寄与したい所存であります。



藤原春吉

大正7年4月23日生

昭和54年1月4日入会

職業分類：建設業

不安が楽しい

入会時には例会出席が果して出来るか不安で仲々決心がつかなかったのですが、はや入会四年目になろうとしています。健康に恵まれ、その間一回も休むこともなく今日まで参りました。何がそうさせるのか分かりませんが、最近では例会出席に責任を感じる様になり、入会前の不安は少しも感じていない。

出先で例会時間を思い出しまして、点鐘スレスレに例会場に飛び込んだこともあります。

考えてみますと、ロータリーに入会して尚一層時間に対する責任が強くなりました。又、例会では知らず知らずの中に自分が成長してゆくことを楽しんでおります。



福本治夫

昭和2年11月2日生

昭和46年12月10日入会

職業分類：キリスト教

————十周年の回顧————

十年前に誕生した私達のクラブも、鈴木基一創立会長が、1983年7月から第255地区のガバナーに指名されるなど、地区内にてめざましい成長の跡を残した。一つ一つが今や思い出となり、脳裏に浮んで来る。

その一つは、高校生に国際理解と親善の目的で、23名を日本語の出来ないウォルター・ショア会員を団長とし、赤羽先生と私と三人で約二週間、カリフォルニア大学パークレー分校、サンディエゴ医学部、天皇も訪問されたナサ宇宙開発研究所、ヨセミテキングスキャニオン、セコイヤの三国立公園等を案内したことや、南加州合同メソジスト教会招待で三週間訪米した時、バイセリアRCを訪問し、シュリック国際奉仕委員

長に案内され、日本からの高校生を受け入れてくれると云う二つの高校を訪問し、校長と打合せたこと、当時のポーター市長に阿久津町長のメッセージを届け、市長公用車で市内各施設を案内していただいたことも昨日の様に思われる。

創立にご尽力いただいた故滝沢ガバナーが公式訪問で「このクラブは国際奉仕でユニークな活動をされては」と助言があり、今日まで大切にされている。今年度少年少女合唱団訪比演奏も、同氏の期待に添ったプログラムではなかったでしょうか。理念が正しく守られる限り、クラブもロータリーも永遠である。



古山 正

昭和10年10月1日生

昭和48年8月14日入会

職業分類：温泉ホテル

——ゴルフについて独り言——

ある有名なプロゴルファーは云った。
「ゴルフは身体で学ぶもの、ダンプカー一
台打ち込んで一人前だ」と。

昭和35年6月、クラブを握り初めて丸々
22年を迎え、とりつかれたように、又、機
会ある毎に練習、コースにと励んで来たつ
もりだ。腕前の方は如何に！

打ち込んだ球を計算して見ると、ダンプ
カー一台半位になる。しかし、スコアは
自分の思っているようにはままならず、最

近は日により最悪のスコアも時々出て来
る。何んと云うフガイなき、そこで自己反
省となる。

最近では身体の調子第一、練習は量より仕
方、方法、気の入れ方を重点にし、バラン
スの整った時コースへ、アンバランスの時
は中止し、必要な柔軟体操をする。五十才
も間もない、六十才、七十才までも健康で
楽しめて、ハンデ4を守りたいものだ。



郡 司 昌 佳

昭和12年8月2日生

昭和46年12月10日入会

職業分類：農機具販売

———光陰矢の如し———

私が入会したのは34才でした。栃木北部
キセキ販売株式会社を設立して一年の時
鈴木基一さんの熱心な誘いで入会し、財団
委員長をつとめ、更に鈴木伊勢松会長の幹
事もいたしました。その当時は色々にご迷
惑もおかけ致しましたが、皆様の温かい友
情に支えられて今日にいたっております。
九年間皆出席も致しました。願りみます

に、十年はととても短く、正に光陰矢の如し
でした。

私はロータリーに入会して、素晴らしい
友達も出来、ロータリーの精神も多少なり
ともわかって参りました。

ロータリーに入会して、心より良かった
と常々考えております。



広瀬 久

昭和11年6月3日生

昭和52年1月11日入会

職業分類：縫製業

————ロータリーとの縁————

私が三島に工場を建て始めたのが昭和46年12月であり、クラブの創立の年であり、入会した年が五周年の年であったので、なにかとロータリークラブには縁があったのかもしれない。

私にとってロータリーに入会して一番良かった事は、会員の皆様と親しく付き合え

るようになった事であります。会の運営や組織のあり方など、色々と自分の事業の参考になる事があります。

私の事業も今年四月で十年になります。色々の意味でロータリーと共に自分の事業も発展していきたいと思えます。



生田目 政司

昭和14年3月10日生

昭和56年1月20日入会

職業分類：衣料加工

----- 私のお願い -----

ロータリーに入会した時に、親睦委員会に所属しましたが、新入会員は先ず世話役をやるのかと思いましたが、先輩会員に伺いますと出来るだけ早く、多くの人と知り合いになれる様に、クラブは親睦委員をお願いするのですとの答えが返って来ました。ロータリーは親睦が大事なことが分かりました。例会に参集した人々と語り、友情を盛り上げることが大事なことでと教えていただき、有難うございました。

私はロータリー会員の一年生ですが、多少の例外はあっても、一人一業の原則を守

り、出来るだけの地域社会の違った業種から同業者の利害関係を離れて語りあって、自分の知らない世界の知識を得ることが出来る素晴らしいロータリークラブの組織と思います。

私はロータリアンとして経験が浅く、未完成な人間ですが、ロータリー精神を例会を通じて、奉仕活動に参加させていただき、自己の修練の場として、奉仕の道に情熱を燃やす人間に自分を成長させる様に努力します。



石川 光一

昭和6年9月8日生

昭和56年3月10日入会

職業分類：貯蓄銀行

—————心訓とロータリー—————

毎年四月になると、若い希望に燃えたフレッシュマンが入行してくるが、入行前のウォーミングアップとして、何回か事前通信を送っている。その最後の通信が、福沢諭吉の次の「心訓」で結ばれているのが目にとまった。

- 1, 世の中で一番楽しく立派なことは、一生涯を貫く仕事を持つことである。
- 1, 世の中で一番みじめなことは、教養のないことである。
- 1, 世の中で一番淋しいことは、仕事のないことである。
- 1, 世の中で一番醜いことは、他人の生活をうらやむことである。
- 1, 世の中で一番尊いことは、人の為に奉仕して、決して恩に着せないことである。
- 1, 世の中で一番美しいことは、全てのものに愛情を持つことである。
- 1, 世の中で一番悲しいことは、自分の心に嘘をつくことである。

ロータリークラブの誕生が、1905年（明治38年）だから、ほぼ同時代に日米で提唱されていることに興味をそ、られた。そして又、こうした考え方が、今日でも常に新鮮な思いで受けとめられることは、二次元のみならず三次元の時間を超えた優れた先人の思想に、改めて深い感銘を覚えた次第である。



井上正夫

大正13年12月20日生

昭和47年6月1日入会

職業分類：自動車電装小売

道

入会して間もなく十年。たゞ夢中で過ごしてきました。

入会して良かったことは、多くの職業人、良い友達と巡り合い、親しく話し合いが出来、商売以外の色々な事が吸収出来、社会に奉仕する事が出来ることです。

「この道より我を生かす道なし、この道を歩く」三条実篤の「道」この言葉が私は好きなのです。これを一筋に35年、今後共この道一筋に、職業を通じて社会に奉仕する覚悟です。



伊藤俊三

大正13年10月21日生

昭和46年12月10日入会

職業分類：日本料理

-----他人は皆師なり-----

十周年記念式典に創立会員として受賞しましたが、ロータリーの「ロ」の字も知らないで、入会した私は、その賞を誇りと思うより恥ずかしいと思われてならない。

チャーターナイト記録、当時の会務報告書を開いて見ると、懐しい名前が出てくる。又、当時の役員さんの苦勞が偲ばれる。

半数に減った創立会員、会員六十余名にまでふくらんだクラブ、多くの退会者の顔

を思い浮べ、ちょっぴり諸行無常を感じる。

今まで無事にこられた私を支えてきたのは何かと思う時、痛切に感じる言葉は「他人は皆師なり」である。会員の皆さん一人一人が私にとっては先生でありました。

58才、還暦を間近に迎え、これからの人生をロータリーの職業観を基礎に、会員の皆さんの指導を受け、頑張ってゆきたい。



伊藤 祐蔵

大正13年9月18日生

昭和54年1月4日入会

職業分類：印刷業

——私のロータリーとは——

ロータリーとは何だろう。私は私なりに考える。

最初に考えるのは「暖い心、安らぎの集い」であり、自分自身の研修の場でもあります。又、私を叱咤激励してくれる場でもあ

ります。

戦時中陸軍特攻隊要員として、徹底的に教育訓練されて、はや37年経過しました。それ以来の本格的教育を受けておる昨今です。



伊藤 義明

大正15年4月26日生

昭和56年2月7日入会

職業分類：酪 農

——しなやかに、したたかに——

先頃惜まれ乍ら農協長を勇退したH氏の嬰鏢として話された次の言葉を噛みしめている。「二年連続の大冷害で大変な減収で、米を買って喰べました。この貴重な経験は思いがけない教訓を与えてくれた。減収でもそれなりの暮らしが出来る「しなやかさ」を百姓は持っている。その証拠に農協貯金残高は少しも減っていない。これが都会のサラリーマンだったらどうでしょうか。我々の様にケロツとした顔はしてられない筈です。万事がお金で支えられている都会生活とは違って、チョツとした心掛け次第で我々は低所得生活に切り換えることが出来る。自給面を増減する事で、柔軟に対応出来るからです。そこが百姓の強さでもあ

り、弱さでもあります。もっとしっかりとソロバンを持ってその弱さを克服しなければならぬと思います。その反面ではお金では換算出来ない部分にこそ、農村生活や農業の魅力や楽しさがあるのであって、ソロバン勘定にばかり走ったら、とんだ落とし穴にはまるのが農業だと思っています。

然し今、貿易不均衡の理由に農産物の自由化が叫ばれていますが、正直のところ企業だって政府だって農業を邪魔物の様に思っているが、他国の畑をあてにしている独立国、民族は無いと思います。自らの農業を守る為に「したたかに」働かなくてはならない。



金子哲也

昭和14年2月1日生

昭和51年8月3日入会

職業分類：牧 場

——メイクアップせずじまい——

三年前にイタリアローマでR Iの国際大会があり、クラブからも多勢出席した。その数ヶ月前に私はイタリアを旅行した。その時、鈴木基一さんからイタリアでメイクアップしてくるようにと、例会日、例会場とを教わって行った。そして、フィレンツェとヴェネチアで例会日が丁度一致した。バナーまで用意して行ったにも拘らず、とうとう例会に出席する勇気が出ないで終わってしまった。

昨年、イタリアからスペインを回る旅をした。今度は初めからメイクアップするつもりは全くなかった。だから、例会場も何

も調べていかなかった。ところが、スペインのバルセロナに泊った時、偶然例会場が分かったので、私は勇気を出して例会場を訪ねてみた。残念乍ら例会日ではなかったのだが、会場を見せてもらって、多少なりその雰囲気味わってきた。ドンキホーテのような紳士どもが集まるであろうことを想像したのである。日本からのバナーも幾つか飾ってあった。今回はバナーも持参しなかったので残念であった。又チャンスがあれば勇気を出して、出席したいものである。そして、遠い国の違った例会を味わって来るのも勉強になるかもしれない。



君 島 隣

大正3年10月28日生

昭和51年7月6日入会

職業分類：生花販売

——海に憧れ 海に生きた私——

佐野文化会館での255地区年次大会で、加瀬俊一先生の記念講演「世界情勢と日本の進路」を拝聴して、急に昔が恋しくなりました。日の丸を掲げた油槽船が遥か中東からもたらす石油に頼って、日本のGNPが成り立っているとのこと。

海に憧れ、海に生きた私の青春、海こそ私の青春の総べてでしたが、今それも遠い波の果てに消えようとしています。

ペルシャ湾のアバダンから印度洋を東に抜け、ニコバル諸島から海の墓場と云われるマラッカ海峡である。懐しいペナンの灯

が思い出される。ここからシンガポールまでの600マイルは凡らく日の丸タンカーの行列が続いていることでしょう。嘗てのブルネー、今のカリマンタンを右に見て、北上するともう南支那海である。東京まで約三千マイルの地点にある。私は胸の奥に昔の航路を繙いています。もうすぐ五月だ、印度洋の恐ろしいモンスーンが吹き荒ぶ事だろう。

ロータリアンのお蔭で、私は何時までも青春時代を偲び続けています。



君島久造

昭和8年2月11日生

昭和49年9月3日入会

職業分類：温泉経営

——— 友好は若返える ———

少年少女合唱団と共に訪比し、姉妹クラブのバラニアックRCと友好を深めてきましたが、言葉は通じなくても、百年の旧知の様に心は通うものです。

南国的なお国柄で、常に笑顔で語りかけてくる姿には明るさと若さがある。日本人

には無い姿である。合同演奏会に於ても、ありのままの姿で友好をはかり乍らの演出は見事で、自分達も楽しみ乍ら、観ている人をも楽しませる、実にうらやましい。

大変勉強になることも多く、これからもこの友好関係を持続させたいものです。



君島六郎

大正11年8月15日生

昭和49年4月1日入会

職業分類：温泉供給

——— 思い出すこと ———

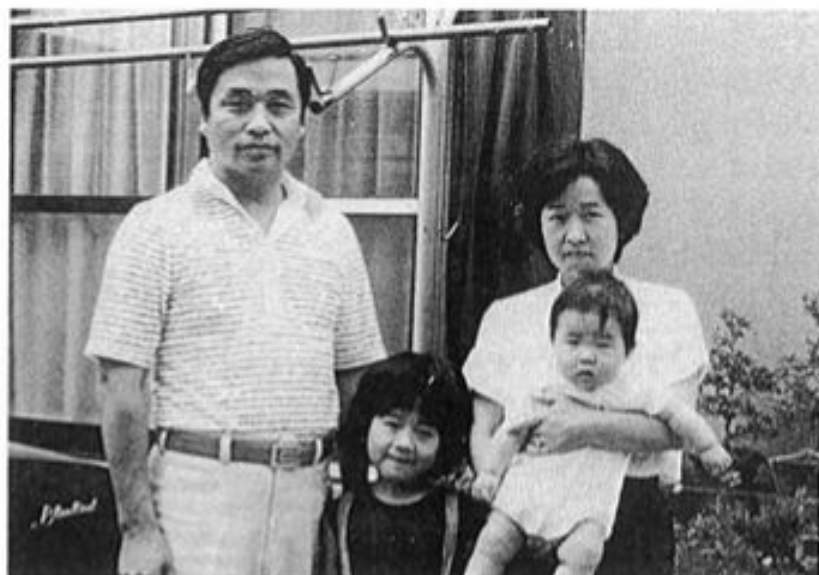
十周年記念式典には、十代目会長感謝状と会員の総意によるクラブ賞を戴き、光栄に存じております。

入会以来約八年、六十余名の立派なお友達をもつ事が出来、その方々と共に微力乍ら種々奉仕活動の出来得ましたこと、毎週の例会出席を楽しみにしております。

私の趣味である旅行も、入会以来数回に亘っての国際大会、特に意義あるR I 75周

年国際大会及び地域大会等に会員諸兄と共に参加出来まして、最大の思い出となりました。

当クラブにご推薦下さいました鈴木基一先生に感謝しつつ、今後共尚一層の会員相互の親睦と融和を図り、クラブの向上発展につとめ、歩み出した15年に向かって皆様と共に健康の保持につとめ、奉仕活動に努力して参りたいと考えております。



木村 憲次

昭和23年1月3日生

昭和57年3月2日入会

職業分類：生命保険業

——「有難う」を言おう——

昔、「有難い」という言葉が口癖の男がいた。人が門口に来ただけで「有難い」という。「用事もまだ分らないのに何是有難い」と言うのかと尋ねると、「他人様がわざわざ訪ねて来てくれた事は有難いことだ」という。

ある日、転んで膝をすりむいた事があった。ところが、有難いといつものように云った。そばにいた人が「けがまでして何が有難いのですか」と尋ねると「考えてごらんなさい。転んで足一本折ることだってあ

る。それがこの位のけがですんだ事は有難いことではないか」と答えた。常に感謝の気持ちを持っていることの表われだと思ふ。

近頃この感謝の気持ちが薄らいできたような気がする。人に親切にされても素直に「有難う」の言葉がでてこない。だから、自分からも親切を忘れてしまう。

ロータリアンとして、一人の人間として常に感謝の心を忘れずに「有難う」が自然に出てくるようになりたいものだ。



小林 正治

昭和7年2月19日生

昭和47年11月21日入会

職業分類：製材業

———今にして想うこと———

私は創立一周年の時に鈴木基一先生の勧めで入会しましたが、今反省して先生には申し訳けなかったと思っております。と云うのは、創立の際、寒い夜に二度程私の家に足を運んでいただき、是非創立に参画してくれるようにとのお話でした。私も家族と相談した結果、現在の事業や業界の方の役にて体に余裕がなく残念乍らその時はお断りしました。実際のところ会員として皆さんに迷惑をかけたかと心配が先でした。その一年後に再び先生からお話があり考えた末、先生の熱意に自分の心が入会にとつながった訳です。

一年間は無我無中の内に過ぎてしまいましたが、欠席だけはしない様に心掛けたつ

もりです。今年11月で十年になります。その間自分自身で色々な面で困った事も何度かありましたが、鈴木先生に相談して解決してきました。私が週報委員長の時、委員の一人が原稿の締切日に間に合わず、次週例会に配布出来ず、皆さんに陳謝した事もありましたし、原稿の文字が読めずに困った事もありました。考えて見ますと、個人個人がロータリー精神に徹して責任を持てば総べて成し遂げられるのではないかと思います。

当クラブからガバナーが誕生することは、他クラブよりも認められた事で、これを契機に一層頑張りたいと思う訳です。



小林正一

昭和3年5月6日生

昭和52年1月4日入会

職業分類：自動車部品小売

——ロータリーバッヂ——

私はクラブに入会して、この小さなバッヂの重みを知らされました。

自らの行動に偽りがいか、常にこのバッヂに監視されておるような気がするのです。ロータリアンとして仲間に汚名をそそぐようなことがあってはならないし、実行は難しいとは思いますが、常にいたわりの

心も持ち続けなければならない。

バッヂをつける以前の私と現在の私とでは大部大人になったと人に云われます。今後は勉強もし、恥しくない行動をとるよう努力するつもりです。

バッヂ君よろしく願います。



小出正夫

大正3年9月20日生

昭和46年12月10日入会

職業分類：自動車整備

——「奉仕の理想」の邦楽盤——

当クラブのホテルニュー塩原でのチャーターナイトのアトラクションに、全盲の坂本勉先生が、ロータリーソング「奉仕の理想」を邦楽に編曲し演奏致しました。これは時の鈴木基一創立会長が発案し、坂本先生に依頼し実現したのですが、邦楽にて演奏は本邦初演だったと思います。これは満場の大喝采を浴びまして、これの邦楽盤の希望が多数寄せられました。そこで会長は坂本先生に再度のお運びを願ひまして、栃木放送のスタジオを借りまして収録致しまして、ご希望の全国のロータリアンに配布を致しました。

最初500枚位だろうと予想して製作しましたが、予想を遥かに越えまして300枚追加製作し、遠く沖縄、北海道のクラブに迄お届けしたのもなつかしい思い出となりました。私はじめ担当者は一刻も早く発送をと、日夜仕事を続けました。代金の各クラブからの送金も順調で、流石ロータリークラブだと感心したものでした。

その後、暫くの間は各クラブで例会時にこの邦楽ロータリーソングが流され、楽しい一時を過ぎたのではないかと考えております。



小池 保

大正12年11月1日生

昭和46年12月10日入会

職業分類：請負業

——政治とのはざまで——

クラブ創立について鈴木先生から誘いを
受け入会した頃は、正直云って分からな
かったのですが、出席している中に「思いや
り」の言葉を知り、奉仕なくしてはこの世
のつきあいは出来ないことを知りました。
「ふれあい」を大事にする為には休めない
と思い今日まで皆出席して参りました。

入会三年目に幹事をやり、要覧文献に目
を通しましたが難解で、鈴木先生に大変お
世話になり無事大任を果すことが出来まし
た。大変勉強になり、ロータリーの入口位
知ることが出来ました。その後二年して今
度は会長の指名を受けました。その時町議
会副議長でもありましたが、創立五周年記

念式典も会員諸兄の協力により無事実施す
ることが出来ました。その間会員も八名増
強出来ました。その後御恩返しに協力をと
思っておりましたら今度は町議会議長と云
う立場になりましたが、皆さんが私への「
思いやり」で二年間無事につとめさせて下
さいました。

現在は十二年間の議会活動から足を洗い、
ロータリーの理想である職業奉仕に入りま
したが、この二年間のブランクが私をして
ロータリーの真髄を探究する心を緩めてし
まいましたが、この十周年を期に創立会員
としての心をあらたにしてクラブ発展に努
力する気持ちであります。



小 滝 信 光

昭和16年7月5日生

昭和46年12月10日入会

職業分類:化学肥料販売

—コミュニケーションを大切に。—

よく十年一昔と云います。クラブに入会して、はや十年がたちました。

友愛、社会奉仕、国際奉仕、職業奉仕に種々なる活動がなされました。交換学生、社会教育講演会、少年少女合唱団の結成等……。その一つ一つが今ある西那須野クラブを作りあげて来たのだと思います。

さまざまな職業の集りであるクラブに出席する事で、今迄の思考の範囲から一步進んで、その視野も非常に広がった様に思われます。特に例会は良いコミュニケーションの場とも云えます。社会面で、経済面で、

特に亦教育面でめまぐるしく動転する現在その多様さの中で、見解も今や一国だけの問題ではなく、国際的な観念が問われる時と思います。そう見ましても、良いコミュニケーションの必然性は云うまでもありません。コミュニケーションを密にする事によりクラブは一段と結束し、向上する事は必至と思います。

一つの町から一つの国へ、そして世界へと輪を広げるのも、その基盤となる一つの町すなわち、西那須野町を発展させる事が、当クラブのの役目かと思っております。



狐塚敏雄

昭和5年3月28日生

昭和52年8月9日入会

職業分類: ゴルフクラブ

欠席雑感

クラブ週報を受取り、出席報告を見るたびに自分の氏名が印刷されていると、また欠席してしまったと後悔もし、反省もする。ロータリアンは出席が義務だと云われているのに欠席とは、これには色々理由がある。職業上火曜日と云う日に問題があるようだ。

ゴルファーは土日祭日プレーが多い。従って各種競技会は自然に月曜日を避けて火曜日に集中される。またゴルフ界の会議及び諸事業も然りである。

月曜日を定休にして火曜日以降に行う様

になる。現在のゴルファーの動きを見ると、プレーヤーは特に女子が多くなりつつある。土日祭日は混雑して、いいプレーが出来ない、平日にゆっくりプレーをと云う状況が最近見られるようになった。

こんな事を云って若し例会日に変更になったら常に出席出来るかと云えば、恐らくその時にはまた別な理由が生じるのではないと思われる。要は決められた日に最大限出席することが、ロータリアンの使命と考えるべきだ、多少の欠席はお許しを。



草野 栄 龍

大正6年12月10日生

昭和46年12月10日入会

職業分類：佛 教

——進について——

面白いことに進という字、実は飛んでいる字なのであります。つくりの雀〈フルトリ〉は名の如くトリなのでありまして、辞書には“尾の短い鳥のこと”とございます。試みに拾ってみますと、まづ思い当るのが飛べないトリの鶏ですが、どう致しまして雀・雉・隼・雁・鶴・鷺も鷺も同じ仲間なんです。不思議なのは尾の長いキジも雉と書かれますし、第一「雄」がいるノと胸を張りましたら雌もいました。それに雛もです。尾長ドリには雌雄がないのでしょうか——まあ尾の長短を超えて鳥の一般に用いられたのかも知れません。

ではシンニュウは地上の道か、といいま

すとこれも別に地上に限ったわけでは無いようです。イと止の合字が止なのでユク〈ぎょうにんべん〉と止まるという動きの形が表わされて居ります。スイスイ通るのもトボトボ迫るのも動いたり止ったりする事では同じですから同類の文字に造られたのでありましょう。従って鳥に行動が付けば空飛ぶ姿、空路と見ても差しつかえはありますまい。

すすむと読む字に「晋」がありますが、何とこれは進の古字であると申します。そして更に晋には「日の昇る義なり」と註がございます。ますますおめでたい次第です。



マリオ・C・バーベリー

大正15年9月10日生

昭和52年8月2日入会

職業分類：教育宜教師

————— 国際奉仕の毎日 —————

私が西那須野クラブに入会して五年になります。石垣クラブより通算しますと十四年になります。石垣クラブは大変不便なところでメイクは仲々出来ないところです。これも環境で止むを得ないと思いますが、西那須野クラブは総てにおいて素晴らしいクラブだと思っております。

ロータリーは今の私の生活の中で最も楽しく大好きです。例会で多くの方と接し、知り合うことが、外国人の私にとりましては大変勉強になります。

私は教会関係の仕事をしていて、栃木地区教会関係、アジア学院関係、地域社会関係、英語教室等毎日家内と飛び廻っております。時には同時通訳をすることがありますが、英語は結論が先に出来ますが、日本語は逆で、フレーズを全部聞きませんと訳せませんので、難しいです。言葉の解らない人達の間で、それを相手に正確に伝えることは奉仕そのものだと思っております。毎日が国際奉仕のような仕事ですが、ロータリーと共に楽しく過しております。



三 森 重 保

明治32年8月22日生

昭和46年12月10日入会

職業分類：金物小売

健康の有難さ

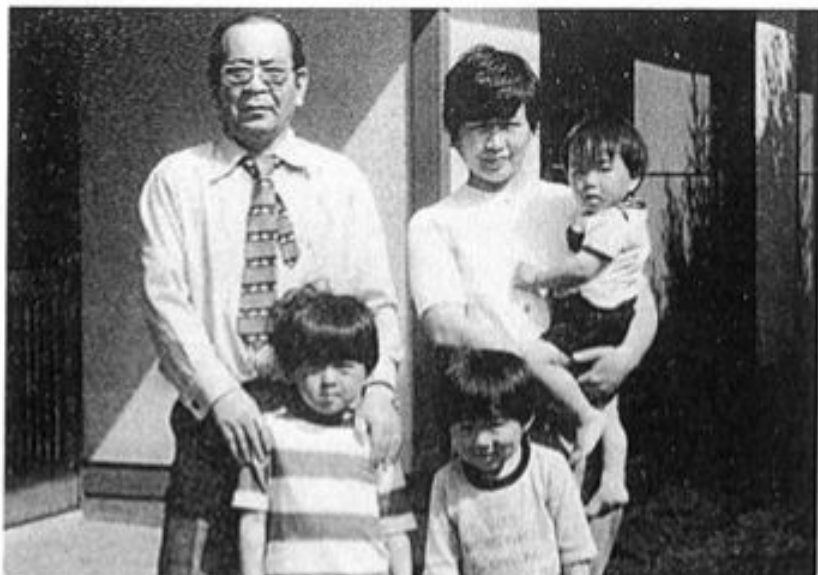
私は83才ですが、健康に恵まれており、風邪は戦前、戦後各一回かかった丈で、親に感謝しております。ただ77才の時前立腺肥大で手術を受け75日間入院しましたが、今では全快しております。その際例会を十余回欠席しましたが、それ以外は欠席早退遅刻等もしたことはありません。私は例会出席はロータリアンの義務だと心得ておりますし、家族も理解し、その日には声をか

けてくれます。

チャーターメンバーの一人ですが、入会時73才でしたので、その後余り勉強もせず、お役にたたず申し訳ないと思っております。

体は丈夫なので、例会出席は必ず例会場迄歩きます。これが健康の秘訣ではないかと、実行しております。

健康程有難いものはないとつくづく思っております。



三 森 美 夫

大正15年12月8日生

昭和55年4月22日入会

職業分類:レコード楽器小売

— 良 き 友 —

過日ある親友から厳しい注意を受けたのです。それは「お前は他人との対話の中に公平を欠くところがある。服装や身なり教養等で接客応待の態度や言葉が違う、商人は総ての客に平等でなければならない。そのようなことで人を判断するのは間違いだ、相手にも失礼だ」と云われたのです。私は「ハッ」と気付きました。早速改めました。

今しみじみと後悔しております。「思い上がったこの愚かさをどうぞ許して呉れ」と素直に認め謝りました。この時程、もつ

べきものは良き友達だと痛感したことはありません。私にもう少し、「ふれあい」「思いやり」と「暖かい心」があったなら、そんな行動はしなかったのではないのでしょうか。まだまだ未完成の私です。皆様のご指導を心よりお願い致しまして、十周年の記念にロータリアンになって本当によかったと感謝しております。と同時にこの友人への感謝の念を更に強く肝に銘じ努力を続けたいと思います。



宮 利 男

昭和9年5月25日生

昭和52年1月11日入会

職業分類：木材販売

私の奉仕

クラブに入会し、各職業の指導的立場の先輩の話には強く胸を打つものがあり、私も勉強して一日も早くこうなりたいと思っております。

入会五年間の思い出の中で、最も心に残るのは青少年奉仕委員長として、少年少女合唱団との交流です。毎日曜日の楽しい集い、その一年間はまたたく間に過ぎ、色々思い出に色どられ、自分としてもまあ良く動いたなと思います。その間諸先輩の指導

助言は有難いの一言につきます。

現在は住宅産業は不況のまっただ中がありますが、職業奉仕が企業を助けてくれつつあります。不況なるが故に、消費者、施工者の立場になって製品を造ること、即ち、このことが企業の安定と発展に連なると信じております。そのことによって良い得意先が買いに来てくれることは、有難いことです。



松本光男

昭和11年12月17日生

昭和56年3月24日入会

職業分類：信用金庫

出席即勉強

入会当時は出席することがおっくうで気が重かったが、最近やっと日常生活でロータリーを意識しないで、自分のスケジュールとして定着しつつありますが、それでも例会日は時間を気にしながらの仕事になり

ます。

近頃は会場の雰囲気にも慣れ、楽しくなってきましたが、まだまだ勉強不足で、皆さんの話を聞くことが勉強だと思い出席に心がけておるこの頃です。



森 透

昭和5年11月5日生

昭和48年9月4日入会

職業分類：石油液化ガス販売

——情熱を持続させよう——

奉仕活動を持続させることは難しいことですが、反面それが成就した時はそれは素晴らしいものです。

個人個人の奉仕への情熱を持続させる為にも例会への出席は不可欠ですし、例会の意義もそこにあると思います。クラブとしても、個人としてもその成果があがるのは情熱の地道な積み重ねの結果であると思

ます。

当クラブも十年に及ぶ持続的な奉仕活動により、地区内でも優秀クラブの一つに数えられております。そのクラブに私は席を連らねることが出来、多くの優れた先輩友人と毎週貴重な時間を過すことの幸福をしみじみとかみしめております。



森 利 男

大正7年11月1日生

昭和47年11月21日入会

職業分類：室内装飾業

——私とロータリーとの出会い——

還歴もすぎ髪も白くなり、間もなくシニア会員の仲間入りだ。少々古い話だがBSのリーダーをしていた頃、大田原RCがホストでロータリーの集会があり、少年達と道案内の奉仕をした。その後例会に招かれたが皆さんが立派に見えた覚えがある。当時ロータリーが何であるか勿論知る由もなかったが、それがロータリーと私の最初の出合いであった。

あれから何年経っただろうか、そのロータリーの中に私がおる、感慨無量である。創立一年後に入会し、健康にも恵まれ九年皆出席し、大勢の友人が出来、色々な事を学んだ。只々感謝の念で一杯です。この記

念すべき時にあたり奉仕の理想実現に及ばず乍ら微力を尽さんと覚悟を新にした。そして事情の許す限り何時までもロータリアンである事を誇りとして西那須野クラブのメンバーでありたい。

因みにスカウトソングの一節を紹介します。スカウトをロータリアンと読み替えてみて下さい。

ひとたびスカウトに誓いをたててなりし
身は 何時も何時も スカウトだ
ひとたびスカウトに誓いをたててなりし
身は 死ぬときまでも スカウトだ
ひとたびスカウトに誓いをたててなりし
身は 死してのちも スカウトだ



室 井 行 男

昭和2年8月11日生

昭和47年11月21日入会

職業分類:機械部品製造

———十周年に憶う———

ロータリークラブと云うものは私共とは縁遠い集りだと考えていたが、偶然と云うか、突然と云うかクラブの一員として迎えられ、今日迄何とかロータリアンとして過すことが出来ました。

当初出席が非常に苦痛に感じられたが、半年、一年と経つ中に習慣の様になり、さほど重荷に感じなくなると同時に、ロータリークラブに入会させて戴いて沢山の良き友達が出来て本当に良かったと思いました。

ロータリークラブに入会しなかったら、一生友人になれなかっただろう友が沢山あ

ると思います。そしてその友と例会を通じて和やかな雰囲気ですり合い、多くの先輩から人生勉強をさせて戴き、友愛の場としての例会の重要性を痛感致しました。

クラブも十周年を迎え、益々発展を遂げつつある事は誠に喜ばしい事と思います。ロータリーには卒業はありません。私共も出席に、奉仕に、親睦に益々友愛の輪を拡げ、一層頑張って和やかな、明るい西那須野ロータリークラブを守って行きたいと思っています。



中 里 正

昭和3年5月4日生

昭和52年1月4日入会

職業分類：給排水工事

出席所感

入会当初は出席で脱落するのではないかと感じておりました。行けるだけ行こうと思って出席しておりましたら、その内に慣れて来ました。又、最初の卓話は苦痛でしたが、生いたちか職業でも話したら、との先輩のアドバイスで気楽にやることが出来ました。

例会では色々な人のアドバイスをいただき、大変参考になりました。又、委員長、理事をつとめさせていただき、ロータリ

一の組織の深さを知り、自分に与えられた仕事を忠実に実行し、新しいアイデアを取り入れて自分なりに最大の努力をしておれば、皆が協力して下さり、良い結果が生まれてくることも体験しました。出席の重要性もこの辺にあるのではないのでしょうか。出席は健康が第一ですし、それに家族、職場の協力が無ければ出来ません。又、計画性も必要だと思います。



岡 部 稔

昭和17年3月9日生

昭和50年1月21日入会

職業分類：ホ テ ル

-----十周年に想う-----

私の様に途中入会者が常に感じますことは、先輩の足跡に学びそれを基礎として、ロータリー活動を活発に展開してゆくにはお互いの協力と努力ではないかと思えます。この当クラブでは、職業を越え、年齢を越え皆が平等でお互いの役割を分担し奉仕をし、結果として共にその喜びを分かち合う時、真のロータリーの奉仕が実現すると思えます。

私はクラブでも若手グループの一員であり、七年皆出席ですが、余りにも学ぶ事が

多く、又、日常の仕事も多方面にわたる関係から、こし方を反省してみますと、良き先輩に恵まれ、与えられた役割を夢中で追いかけて、実行したのみで、そこに余裕もなく、不本意な面が見えますことは、自分の未熟さを思うものです。

今後20周年に向けて共に元気に奉仕活動を進め、意義ある周年を全員で迎えたいと考えております。



岡本捨次

大正14年11月17日生

昭和56年2月17日入会

職業分類：靴 商

————合唱団で思うこと————

ロータリーの四つのテストの中に真実、公平という文字がある。私は公平、一直線と云う文字言葉が好きなのです。

少年少女合唱団の演奏を聴きまして、それに魅せられました。演奏はその言葉にあて嵌まる場所があるからです。それは、幼い子供達が指揮者に従って決められた一本の線から一人としてはずれることもなく、指揮者を見る眼は真実そのもの、最後まで一生懸命唄い、そこには美しく輝く瞳があ

ります。全員が可愛いユニホーム姿、ここにも公平な姿がある。私達は日常生活、ロータリー活動でも合唱団の姿から色々教えられることがある。

ロータリーで育成した合唱団が身近にあることは嬉しく亦誇りに私は思っております。これをいつまでも育成強化することを希望し、私自身も共に楽しんで参りたいと思っております。



大森仁龍

昭和4年2月20日生

昭和53年2月28日入会

職業分類：佛 教

社会教育考

社会教育の一端として、めまぐるしい社会の急激な変化によって、地域社会とその住民生活に数多くの問題が起きております。

特に通勤通学を始めとし、レクリエーション等の日常行動半径は広域化し、地域文化の共有や祖先々住者等よりの伝承は失なわれつつあり、地域社会のつながりは、ますます薄くなってきています。本町においても、人口の社会増、これに加えて核家族化の傾向、都市化の進展による社会状況の変化により、多種多様な志向や考え方をもち

っている人々が増加しております。

自治省は約十年前からモデルコミュニティに心要な施設の条件整備を実施しておりますが、コミュニティそのものは行政によって作られるものではなく、住民自身が築くものであることに想いをいたし、より豊かな地域社会建設の為の社会教育の役割について考え、話し合っ、自分自身が自覚をもって、社会教育に一步前進してゆこうではありませんか。



大野千里

昭和25年11月11日生

昭和56年7月7日入会

職業分類：日本茶小売

——新会員所感——

私が入会した本年が偶々十周年で、この十星霜の歴史には殆んど部外者であります。

従って部外者として十周年に当り、この様に感じました。クラブの諸先輩は本当に立派にやってこられたと、こう申しますのは人口四万に満たない区域にあるクラブで、大都市とは異なり、大工場、大商社の社主

というのではなく、小事業主、商店主の方が多く、時間的にも経済的にも制約もある筈にも拘らず、大都市のクラブにひけをとらない活躍に頭の下がる思いがします。

同時に今後の事を考えます時に、自分は力に限りがあり、皆様に迷惑をかけずに活動出来るか不安を感じております。



大 塩 直 文

昭和3年8月7日生

昭和46年12月10日入会

職業分類：整形外科医

私の座右銘

儉より奢に入るは易く

奢より儉に入るは難し。

ロータリーの偉大さはその将来にあり

その過去にあるのではない。

ポール・ハリス



大 武 義 維

昭和8年10月12日生

昭和54年1月4日入会

職業分類: 建築材料小売

———理解ということ———

今回の十周年記念事業としての西那須野
少年少女合唱団フィリッピン演奏旅行は、
奉仕活動としては最大の事業であったが、
これを見事成功させたのは素晴らしいこと
です。

これからも限りなく発展してゆくであろ
うクラブの一員として責務の大なるを感じ

ます。これからクラブを通じ国際社会での
役割を理解し、巾広い人脈との友情を大切
にしてゆきたいと思います。

ロータリーはロータリアンたる主人公だ
けの場でなく、家庭で職場でどれだけ理解
してもらえるか、検討配慮して今後の活動
に生かしてゆくべきだと思っております。



小沢恒明

昭和19年12月1日生

昭和54年1月4日入会

職業分類：薬局

———人生勉強の場として———

入会し奉仕活動をするなど考えられないと思ひ乍らの入会でした。入会して一年間程は、「やはり早すぎた」いつ退会しようかと思う毎日でした。そんな時先輩から自分自身の職業を通じて奉仕する（一生懸命仕事をする）ことが一番大切なんだと聞かされ元気づけられ現在に至っております。

ロータリーに入会して日は浅いのですが、毎日毎日教えられる事が多く、私にとってロータリーは人生勉強の場所と考えています。目先の利よりも、長い人生においてロータリーに入会したことが、これから先私

にとってどれだけ素晴らしい人生が待っているか、考えますと楽しい思いが致します。

先日十周年記念事業として西那須野少年少女合唱団訪比演奏会が実施されました。この事業を通して、国際親善の重要性、ロータリアンの素晴らしさ、人間関係の難しさ……等色々知ることが出来ました。

これからもロータリーの事業を通じて、多くのことを知り、活動し、そして十周年を一区切りとして、これからも益々努力してゆきたいと思ひます。



齋藤豊吉

昭和16年1月2日生

昭和47年6月1日入会

職業分類：建築業

———これでよいのか———

クラブに入会した時設立した会社も、クラブと共に十年を迎えました。その間色々勉強させていただき成長することが出来ました。アメリカで生まれて、日本でも次第に拡大され、西那須野町にも誕生しました。会員は非常に熱心にロータリー精神を理解し、活躍し、その内容も、地域内の他クラブより絶えず、一歩も二歩もリードしている様に感じられます。しかし、他クラブから、意外と冷やかな批判が見受けられます。これは何であるか、考えて見る必要があると思います。十年の歴史の中で、全体的な成長か、一部分の背伸びか、大きなアンバランスが見えるのかも知れません。

政治経済、文化教育等々の中で、ロータリーの果す役割は、大きなものを背負っております。世の中何事でも、必ず二面性を持っているものです。本音と立前、クラブが今一度、地域性を踏まえ、これでよいのか、検討することが必要と思います。

誰でもが、自分の生まれて来る時代を選ぶことは出来ません。その時の時代を、大きく変えることも出来ません。しかし、少しでも良くなる様に変えることは出来ます。地域とロータリーの関わり合い、本質を忘れることなく、成長することが大切かと思えます。



坂内 栄治

大正12年9月10日生

昭和54年7月3日入会

職業分類:通信機器販売

人間の顔

毎週火曜日、必ず六十数名の顔に出逢う。
会食し、談笑し、かつ共に傾聴する。

輝く眼、深いほり、無数の皺、それは何
十年にもわたる個々のロマンを秘め乍ら、
幾多の試練を乗り越えて生き続けて来た戦
士達の顔にほかならない。

この七月が来ると、三年生、未だロータ

リーの何たるかをつかみきれない。が、こ
んな時何処かで見た源氏鶏太氏の「人間の
顔は歴史である」の色紙を思い出した。そ
してロータリアン諸兄こそ、身近にして最
も生きた現代史であると私はつくづく思う
のである。



笹沼幸雄

大正13年1月7日生

昭和55年3月18日入会

職業分類：観光業

——— 励しの声 ———

時々「出来るだけ休まない様にしてくれ」と親しく励ましの声をかけてくるのが、例会場まで最遠距離の君島前会長である。全く休まない先輩に敬服あるのみ。

私のところは観光事業なので休日は大忙しで、例会以外のロータリーの集会は休日が多く、まま休みたくもなる。が、先輩の励ましの言葉を思い出し出席するようになります。又、私の家族もロータリーを理解してくれているので心強い。とに角ロータ

リークラブが大きく伸びてゆく第一の条件は各家族が理解し協力することであり、会員同志が何かと連絡し合い励まし合ってゆくことで、それが奉仕への近道なのかもしれない。

かけ声は、友を励まし、励まされ、
クルクル廻る歯車に、
好意と友情まきつける。



佐藤悦郎

大正2年3月18日生

昭和48年9月4日入会

職業分類：皮膚泌尿器科医

随 想

私が八代目の会長でしたが、当時の会員は58名で丁度いい会員数と思っていたのですが、今は60名を越えています。

兎に角「一步前へ出よう」それを指針にして努力しました。少年少女合唱団を発足させ、文化不毛とまで云われた県北の地に一つの灯をともしたことは大きな思い出で、認められて栄ある「意義ある業績賞」に輝きました。ロータリーならではと会員の協力に感謝し乍ら、改めて感激をかみしめています。

ふり返ってみると会長とは勉強することであり、奉仕活動の実践にリーダーシップをとることであった。幸いに熱心な幹事の協力で、二歩位は前に出たような気がする。

せめてもの自己陶醉である。先輩をはじめ皆さんから教えていただいた奉仕の価値と友情の喜びは、これからの残り少ない人生の教訓であり「はりあい」であろうと考えています。

妻雅子の評価

職業のせいでしょうか、外柔内剛。おとなしいが自分には厳格。戦前派ですから物を粗末にするのが大嫌いで若いものと合わない。

私の評価は80点、気むづかしいので30点減点。この2～3年難聴のため尚更取扱いにくい。但し、健康なので10点加算しておきたい。



関谷直人

昭和8年11月28日生

昭和48年9月4日入会

職業分類：日本酒販売

—————我が友よ—————

何処までも卒業の無い奉仕と云う、深遠な人生哲学の探求を志してはや九年、素晴らしい我がクラブの良き友に恵まれ、己れの幸福をつくづくと感じております。

十周年という記念すべき節目を迎え、来し方を反省し、又明日への奉仕の灯を更に高く掲げたいと思います。これからも宜しくお願いします。我が友よ!!



城 田 正 男

大正2年9月7日生

昭和52年1月11日入会

職業分類：製紙業

————訪比歓待に就いて————

今回の訪比演奏が、R I 会長の指針に添えようと、誰が予測し得ただろうか。偶然かもしれない。これは弛まず続けたロータリー活動の産物で、決して偶然ではありません。

「ロータリーを通じて、世界理解と平和を」のテーマを忠実に実践すれば、平和の姿がそこにあることが実証されたものです。

彼の地フィリピンは幾度か外国に征服され、戦火にもさらされました。国民の苦しみは図り知れぬものがあり、外国人に対

する反抗心を持つのは当然かと思われませんが、今回の児童のホームステイにはその様な痕跡すらもなく、只々頭の下がる思いでした。ロータリーを通じて求める平和とはこの様なことなのでしょう。R I 会長の望まれるのもこの辺にあるのかと思考致します。

友愛には国境がないことが実証されたのです。子供達の心の中には永遠に消えることのない友愛の小さな、そして強い火がともったことなのでしょう。そして未来のかけ橋の基が築かれたと信じます。



鈴木洋利

昭和4年4月27日生

昭和52年2月1日入会

職業分類：食料品販売

———多忙雑感———

芭蕉が曾良を連れて、この那須の野づらを横断して行った姿を思い浮かべて、ある意味では昔の人は幸せだったと思うのです。芭蕉の地位が当時の社会構成の中にあって、経済的にどの辺に位したか分かりませんが、今時何か月も、一年以上も旅をして歩くことの出来る人はごく限られると思うのです。

大自然の山川草木に驚嘆と愛着の眼をもって接し、その土地の歴史の歩みに想いを馳せ、深く人生の意味を考え乍ら旅をなした、この先人を畏敬しているのです。

現代社会の多様化、複雑化する中に生きる我々は段々人間性を失い、マスコミの発達で感情の抑圧と云うか、不感症化して素

直に喜怒哀楽の情を失いつつあります。マスコミとは情報の大量伝達とはよく云ったもので、ハッキリをきかせた表題によって貴重な時間をつぶしてろう。プライベートの時間の捻出が難しくなってきました。

以上の様な私の極めて平凡な考えからも、お互い貴重な時間をつぶして参加しているのですから、とにかく楽しく勉強になる為の会にしてゆくのがベストだと思います。それには自己主張の押えと、他の人への思いやり以外にないのではないのでしょうか。一癖も二癖もある人生のベテランの集い故に、運営如何によっては楽しい、待ち遠しい会になります。



鈴木 伊勢松

大正8年1月18日生

昭和46年12月10日入会

職業分類：電気工事

——— 未来に向けて ———

過去を振り返る事の知らなかった私は、あまりにも多忙すぎた事と、戦前、戦中の教育が体の隅みまで染み込んでいる為かもしれない。そして敗戦という、かつて日本が経験しなかった局面から立ち直り、現在の日本を見る時に、なんと素晴らしい時代と云わざるをえない。昭和元禄などと云われ、物質文明が発達した反面、精神面の貧しさは、誠に憂いざるをえない。

世界の先進国としての日本の役割を、忘れてはいないだろうか。それ故に、国際間の摩擦が生じることになり、平和が脅かされることになる。そこでロータリー精神が、

現在の社会情勢を思うにつけ必要視される所以であると私は考える。

当クラブも十周年を迎えるにあたり、創立時の27名から現在は63名というすばらしい若い会員を擁するクラブに発展したことは、創立会長の熱意は言うまでもないが、会員一人一人のロータリーへの深い理解と情熱の賜物であると共に、西那須野町と塩原町という、良き新しさと、良き古さの土地柄から生まれたものと思う。

西那須野RCの一会員として、地域社会の為、ひいては微力乍ら、世界理解と平和の為に、努力して参りたいと思います。



鈴木基一

大正11年12月28日生

昭和46年12月10日入会

職業分類：産婦人科医

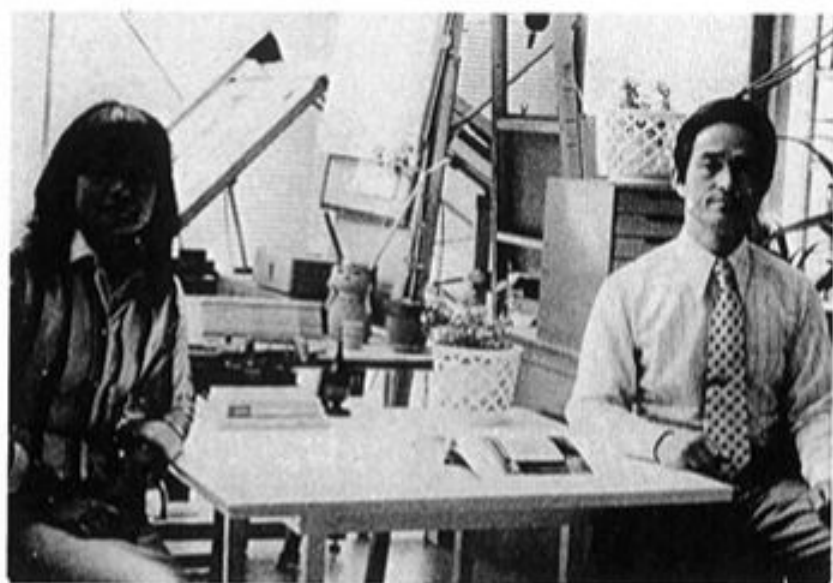
—— 出会いと節目 ——

友人はつくろうとしてつくれるものではない。中国の言葉に「期せずして会うを遇という、遇とは志相得るなり」とあり、親しい友人のことを考えると、友人になったのは偶然の事情からおのずと結ばれた関係で、人生における出会いとしかい、ようがなく、運命としか表現しようのない程不思議なもので、お互いのその後の交りにより断ち難い絆が出来てくる。それだけに地位とか、職業とか、利害とかいった事柄には全く関係なく、純粹に人間同志の結びつきであり、相互の激励、助言、忠告がそのまま、心に入り込んできて、人生航路の羅針盤の役割を演じてくれていると私は信じてい

る。

お互いにいたわり合い、励まし合い、戒しめ合って、お互いに友人を大切にしている。友人がいることで孤独感がうすらぎ、一種の安心立命を覚える。友人は人生の宝であると誰か言った。

人生には節目に当るような時機がある。その節目は人との出会いによって作られることが多く、出会いが節目造りのひき金になることが少くない。この「出会い」と「節目」は人生にある日突然に起ることを心得て、これからの人生も素晴らしい出会いと節目にしたいものです。



鈴木道雄

昭和13年5月24日生

昭和55年8月26日入会

職業分類：建築設計

—— よりしろ ——

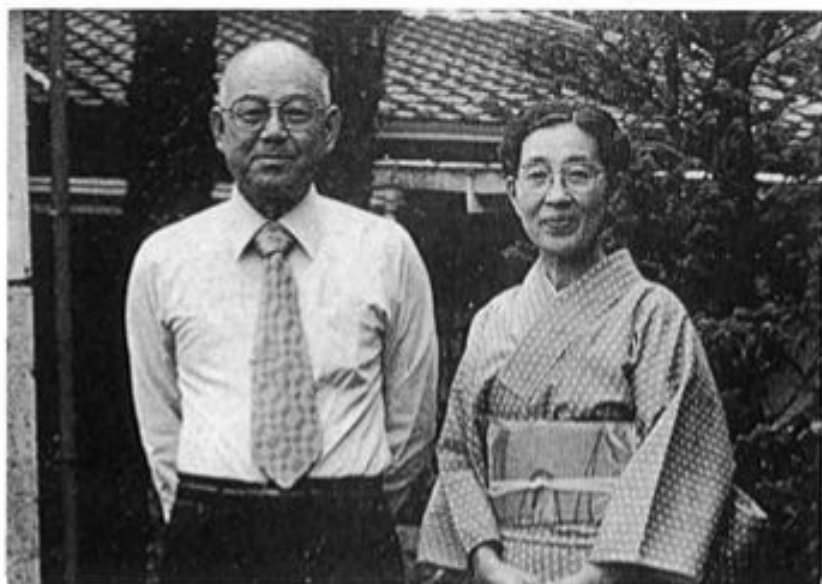
日本古来の原始宗教、つまり神道は樹木信仰をその起源とすると云われる。聳える大樹は格好の信仰の対象であったに違いない、何是なら神が降臨する憑代と考えられていたからである。建造物の柱も同様に考えられ、神々を一柱、二柱と数えるのも柱が憑代として重要な意味づけされていたのである。

神と柱との関係、又日本的なもののニュアンスを表現するのに適した言葉として間を挙げる事が出来る。この間という語は柱と柱のあいだを意味し、従って神の存在する空間でもある。一間二間というように寸法を意味する場合と、空間を表す一間二

間のような使い方と、更に時の長さを表現する場合と、大凡この三つに分けられる。

語源的に考察すると神々の降臨する間には神の気 — 精心 — が漂い、崇高ともいえる充実した空間であらねばならない。

古来森羅万象が信仰の対象であったように、我々も自分自身に確固たる憑代 — 例えば芸術家が時として見せるあの凄まじい程の執念、表現力を喚気させる対象 — を内在させ、外には間の存在を認識させ得る様な人間でありたいと思う。社会構成要員としてのRC及びロータリアンを位置づけた場合、その役割、意義等のある一面が窺えるのではないだろうか。



高野三郎

大正12年9月7日生

昭和56年7月7日入会

職業分類：不動産賃貸業

——ロータリー入門半歳——

皆さんと親しくおつきあいが出来る、これが入会の動機でしたが、これは現在までのところ十分に達成出来た様である。中食をはさんで向う三軒両隣りで交される会話は本当に楽しい一時である。さらに折々の実族参加の集い、妻も友人がふえて日常の往来が多くなり、この集会を楽しんでおり、これまた結構なことである。

入会当初に困ったことは出席である。出席率の競争、100%出席率、あまりに皆さんが真剣なので、会員全員が病気にもならず、事故もないことなどあり得ない事ではないかと反発を感じたものであった。一回欠席すると△1.5%である。私の不始末でクラブの皆さんに迷惑がかかる。こんな気持で必

死に頑張ったものである。幸い健康を害すこともなく、最近では苦しくなくなってきたから不思議である。「例会出席はクラブ員として最小限の義務である」ということが、どうにか身についてきたと思っている。

今後は「親睦の中から奉仕の理想を生み出す集団」ロータリー会員として、職業奉仕、社会奉仕さらには国際奉仕に向けての努力を積重ねていかなければならないと思っている。ましてや地区ガバナーノミニーマのホームクラブ員として会員の責務は大であり、そのことを念頭に努力を続けたいと考えている。



高瀬千治

大正14年11月3日生

昭和54年4月2日入会

職業分類：贈品店

—— 例会を楽しく ——

例会それはロータリアンに与えられた責任あるひと時、それは自分の為にも、クラブの為にも。私はそのひと時が不思議に楽しいのです。何故だろうか、会員の元気な姿や笑顔が見られ、親しく迎えられ迎える事が出来、クラブ奉仕を気持ちよく出来るから。

例会を大切にしていれば輪をより大きくする為に楽しく進んで出席する、その例会での勉

強の積み重ねによって、個人ロータリアンの向上進歩につながり、明日の奉仕に結びつくのだと思います。

クラブの運営には会員夫々責任をもち、助け合ってゆくことが、尚一層親しみが生まれ、楽しさも増してくると思います。

山本五十六元帥の言葉に「してみせて、言ってみせて、させてみて、ほめてやらねば、人は動かじ」とあります。



手塚徳次

大正13年7月14日生

昭和46年12月10日入会

職業分類：衣料小売

職業奉仕考

職業を通じて社会に奉仕する。という事がロータリー精神の根本にある。

常に思う、己の職業、己の仕事が果して奉仕に価する事が出来る基盤を有するか、ロータリーの云う品位があり、価値ある有用な職業となっているか、己の職業を通じて奉仕への努力は、充分なされているか、等々悩みと疑問は多い。

特に流通業務の変転は盡くることのない

様相を呈している。己の事績を顧て奉仕への理想の実現は甚だ遠く、困難な道が峻しくこれを阻んでいるような気がする。この打開する方向がロータリーの理想と一致した時こそ、真のロータリアンとなり得るのであろう。

真のロータリアンへの努力をしようと思う。



戸田白鳳

大正6年3月27日生

昭和52年1月11日入会

職業分類：仏 教

二つのこと

私はロータリーに入会して、すぐ五周年記念式を、そしてこの度亦十周年記念式を迎えたが、その間多くの事を学んだ。

その中の二つをしるそう。その第一は奉仕についてである。奉仕と云うと、人は何か余暇を使って自分に出来ること、つまりボランティア活動をする事や、お金があるからどこかへ寄付する事などを考えがちであるが、ロータリーで云う奉仕とは、何よりも自分の職業を通じて社会に奉仕していく事がその本義であると云う。これは昔から日本でいう天職——天がその人に与え

た職業であるから、それを通して社会にお返しをせねばならぬという考え方に通じるものと思う。今この天職の考え方が、薄になっている時、ロータリーの考え方は素晴らしいと思う。

第二は出席の重視である。近頃は世の中が騒がしい故か、何の会も欠席が多いが、ロータリアンにとっては出席は最小限のつとめである。そして出席すれば必ず得るところがあるのである。

以上二つがロータリーに入会して最も強く感じた事である。



富田 勸

昭和12年3月28日生

昭和54年1月4日入会

職業分類：国立病院

——満足な日々——

私がロータリアンとして、西那須野RCの末席を穢がさせてもらって、三年、その間自分は何をしてきたか、胸に手をやると冷汗しか出て来ない。出席の問題、行事への参画等全てに負担迷惑をかけている。

唯、自分の仕事に忠実に一人一人の患者によりよい医療をと努力する事が第一と考えて居るが、やはり心の負担である。

昨年より塩原町民テニスコートの完成時より、あの楽しいテニスを一人占めするのはと考へ、一人でも多くの塩原町民にこの楽しさを分ち合いたいとの意志により、毎

朝六時より、テニスの指導をしている。

子供達の喜々とした顔、顔、汗を流して、朝日に光かる主婦の顔をみると、睡眠不足はふっとぶ、これが本当のロータリアンの心か、満足な毎日である。

でも、まったく自分の時間がないのだが、自問自答の毎日ではあるが、満足な日々ではある。

これで心の葛藤がなくなった時が、真のロータリアンになれる時なのだが、まだ遠い日であろう。



土屋日出男

昭和6年5月20日生

昭和57年2月9日入会

職業分類：運 輸

——やあと言おうよ——

妻が高校の同級会出席する為足利まで車で送った時に、会場入口で呼び止められた。「ロータリアンですね、私も足利のロータリアンです」と彼は胸を張ってこう言ったのです。彼が私に声をかけてくれたその姿は実に立派で、全身にロータリアンとしての風格がにじみ出ており、ロータリアンとはこう言うものなのだなどその時私は思いました。

私の胸のバッジを見て、すぐに声をかけてくる。これはロータリアンとしてのプライドがそうさせるのでしょうか、その眼、姿は大変美しく見えました。

「やあ」「どうも」これだけの簡単な挨拶がお互い自然に出る様になれば、ロータリアンとして立派に歩み出したことになるのではないかと私は思いました。

それ迄一面識もなく、お互いのことは何も知らない男と男が、お互いの胸のバッジ一つで、何時でも、どこでも、お互いの心の通う会話が出来、心境までも話あえるとしたらこんなに素晴らしいことはないと思いました。

ロータリーとはこう言うものなんだと云うことを彼から教えられた気が致しました。



土山幸三

大正8年11月6日生

昭和47年4月18日入会

職業分類：コンクリート
工 事

妻へ感謝

私が幹事をした年が国際児童年でもあり
ましたので、青少年奉仕活動として、少年
少女合唱団の創設を計画し、クラブの強力
なバックアップを得て成功させた年であり
ます。

私は一年間の幹事の経験で、社会生活に
大変プラスになりました。

ロータリーの素晴らしさを、もっと多く
の人達に知らせたいと思っております。

最後にロータリーを理解し、協力してく
れた妻トヨへの感謝の一言を書き加えさせ
ていただきたい。ロータリーは「女は乗せ
ない巡洋艦」ではあるが、家族の理解が得
られないでは成功しないと思うからです。



植竹幸重

大正7年12月14日生

昭和57年2月16日入会

職業分類：運動用具販売

——スポーツで結びたい——

例会日の時間をとる工夫は新米会員には大変なものである。現役の職場を辞めて老兵として新しい修業である。

ロータリーの綱領に示すところではないが、国際間の理解と親善平和を願う時、私は五十年来スポーツの愛好者として自負してきた体験から申すと、スポーツ界が国際理解、文化交流、平和親善に寄与してきたことは、歴史の証明するところである。私個人としても戦後国際大会に参加する機会を数回得ましたし、後輩選手を何回か外国へ送りました。かつは国体にも二十数回参加していますが、スポーツで結び親善理解、友愛の輪は楽しい体験であります。国際ル

ールは厳しいものであります。アマ競技は同ルールに則るものであります。そこに参加と試合の意義があるのです。

国境を越えての人間の交流は尊いもので、国体陸上競技のブラジル選手団と私の交誼はその後強い契として残っています。私の身近なスポーツ界からの願いは允武允文が人間生活の生きる基本であり、今の青少年にスポーツをとったら日本の教育に一大破綻を招く、現在国際間にも摩擦激しい時代にロータリー精神を結びつけて、私なりのスポーツ人としてのロータリアンになりたいと我自ら私に命ずるものです。



渡辺 陸 男

大正1年10月18日生

昭和48年9月4日入会

職業分類：電気器具小売

————— 権利とは —————

「土地の所有権はその土地の上下に及ぶ」と規定しているが、この単純な表現は現代の社会状況に合わなくなった。それで新法では「法令の制限内に於て」なる条項が加えられた。所謂、建築基準法、道交法、消防法、航空法等によって、何らかの法令による利用制限が付され、勝手気ままな使用は禁止されるのも社会全般の秩序を保つ上で当然なのである。しかし、無謀者の暴力行為による被害も多発していることが実状の

のようである。

最近、私道であるが、道交法上、道路位置指定を受けて、ある私有地を売買による移転登記をした。そして近接隣人の通行を遮断通告をした建設業者に遭遇した。この業者、権利の乱用禁止による制限条項をどう感じとっているのだろうか。

過去は問わないというロータリー会員推薦も今後はみ直しの時期到来と云えると思う。



山口正春

昭和6年2月28日生

昭和52年1月4日入会

職業分類：写真器材小売

——— ロータリーに想う ———

ロータリーに入会して五年がたちました。右も左もわからないま、各種委員を無我夢中でつとめて参り、その間大過なく来られたのはクラブの皆様の友愛の賜と感謝しております。

ロータリーの原点は職業奉仕にあると教えられ、実際に自分の職業にあてはめ、自

分なりに考え、お客様の身になって奉仕することにより、自分の商売にはねかえってくる事も勉強させていたゞき、自分なりに奉仕の精神を考え、実践してきました。

ロータリーには卒業が無いと云われておりますが、それは奉仕に終りが無いと云うことだと思えます。



吉田保夫

昭和11年11月29日生

昭和56年7月7日入会

職業分類：商業銀行

——ロータリーの魅力——

56年6月に西那須野支店に赴任し、初めてロータリークラブに入れて頂いた訳ですが、最初は何も分らず、たゞ夢中で例会に出席しておりました。新人卓話なども何を話したらよいか分らずとまどってしまいました。最近になってようやく例会にも慣れ、新人教育も受けたおかげでロータリーについてその概畧が分ってきたように思います。

それにしてもロータリーというものは奥が深く恐らく一生勉強の連続のような気がします。逆に云えばそれだけ魅力があると

云えると思います。簡単に征服出来てしまったのでは魅力はうすいと思います。

私はつくづく幸せ者だと思う。丁度当クラブの十周年に入れて頂き、記念事業の数々に参加出来、恐らく私の一生にとって忘れ難いよい思い出として残ることと思います。

これから、ロータリー綱領にもある通り、職業を通じて社会に奉仕すると共に職業を品位あらしめるよう自分なりに努力したいと思います。



吉田美雄

大正14年6月25日生

昭和46年12月10日入会

職業分類：食肉小売

感謝

過ぎ去った十年、日月的な事では、いまだにその実感が響いてこない。今、静かに反省すると遺憾な事、思い残す事ばかり脳裏を通りすぎてゆく。自分の奉仕と行動に不満を覚えるが、少しはロータリーの心を

掴み始めたかなと、自負を感じる今日この頃。

尻を叩いてくれた女房に感謝し、もっと多くの人々に逢い交いを深めたい。

西那須野RC会員名簿

A	青 山 栄一郎	君 島 久 造	室 井 行 男	鈴 木 伊勢松
	安 西 久 親	君 島 六 郎	N中 里 正	鈴 木 基 一
F	藤 原 春 吉	小 林 正 治	O岡 部 稔	鈴 木 道 雄
	福 本 治 夫	小 林 正 一	岡 本 捨 次	T高 瀬 千 治
	古 山 正 夫	小 出 正 夫	大 森 仁 龍	手 塚 徳 次
G	郡 司 昌 佳	小 池 保 光	大 塩 直 文	戸 田 白 鳳
H	広 瀬 久	小 滝 信 光	大 武 義 維	富 田 勸
I	生田目 政 司	狐 塚 敏 雄	大 野 千 里	土 屋 日 出 男
	石 川 光 一	草 野 栄 龍	小 沢 恒 明	土 山 幸 三
	井 上 正 夫	MM・C・パーベリー	S齊 藤 豊 吉	高 野 三 郎
	伊 藤 俊 三	三 森 重 保	坂 内 栄 治	W植 竹 幸 重
	伊 藤 祐 藏	三 森 美 夫	笹 沼 幸 雄	渡 辺 陸 男
	伊 藤 義 明	宮 利 男	佐 藤 悦 郎	Y山 口 正 春
K	金 子 哲 也	松 本 光 男	関 谷 直 人	吉 田 美 雄
	木 村 憲 次	森 透 男	城 田 正 男	吉 田 保 夫
	君 島 隣	森 利 男	鈴 木 洋 利	

物故会員

渡	辺	彌	八
富	野	和	之
金	子	勝	己
伊	藤	甲	太
塩	川	兵	郎
沢	口	鎌	三

あ　と　が　き

この十年誌の編集には、私の手許にある創立以来の記録は勿論、幾人かの方々の資料提供をも受け、半年の月日を要してやっと脱稿することが出来ました。ご協力下さった方々に深謝致します。

この十年間はクラブにとって激動の十年間でありました。それ故に尚一層正確な記録資料が必要でありました。全部を収載することは不可能ですので、将来のクラブ誌に必要だと思われるものを重点的に収載し、クラブの未来誌の参考になればと編集致しました。

現代は不確実性の時代とか、第三の波の時代とか、あるいはハードの時代からソフトの時代へとか、と色々言われますが、要するに今迄の外面的な騒々しい活動に代って、内面的で深く沈潜した活動物的生産と蓄積の激しい営みから精神的蓄積の内にこもった営みが時代の潮流となるように思われます。クラブ活動も当然この潮流の内にあると思われます。むろん個々人の中にはこの潮流から飛び跳ねる者もいるでしょうが、潮流をかえることは出来ないでしょう。

この様な時代に、人は何に人生の幸福を味わうことが出来るでしょうか。創造的活動にと答えるでしょう。これには思索も必要でしょうし、趣味教養を培うことも必要でしょうが、何よりもそれを豊かにし、色どりあるものにするには、私は心を許し合った友人が大切だと思います。そして心おきなく話し合える落ちついた自分達のクラブが必要だと思います。

十年誌の編集を終るにあたり、私はこのことを強く感じました。私達のクラブの将来像もこんなところにあるのではないのでしょうか。

— ガバナーノミニ— 鈴木基 — 記 —

発行者 西那須野ロータリークラブ
十周年誌編集委員会

〒 329-27

栃木県那須郡西那須野町

永田町3の6

足利銀行西那須野支店内

発行日 昭和57年9月 日